京城日報

十四日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六十錢
廣告料 五號活字一行金[illegible]
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

◎英大使の外相訪問

英國大使カンニングハム、グリーン氏は本國政府の訓電に接し十三日石井外相を訪問對支外交上の重要問題に付長時間に亘り會談せり(東京電報)

◎日英對支協同電訓

英國政府は北京駐在公使ジョルダン氏に訓令を發し對支外交に關しては日本と協同々一歩調を執るべき旨命令せり(東京電報)

◎浙江省愈獨立宣言

上海來電に依れば十一日夜軍事會議にて獨立に決定せる浙江省は朱瑞將軍不承諾の爲後れ十二日早曉愈々獨立を宣言し鐵道は不通となり電報は私信を取扱はず上海の形勢頗る險惡を見る(北京特電)

◎江西獨立を宣言す

江西省も十二日獨立を宣言したり(東京電報)

◎上海獨立宣布期切迫

上海各租界に潜入しつゝある革命黨の活動益々目醒ましく獨立宣布の時期愈々切迫せり(東京電報)

◎北京も動搖を來す

袁總統政府の根據地なる北京も最近大に動搖を來し某巨頭の如きも袁總統の運命遠からざるを豫斷し四川、湖南、福建相踵いで獨立するが如きあらば急轉直下袁總統の最後を見るに至るべしと觀測し居れり(北京特電)

◎米支借款行惱

米支借款二千萬弗成立し内百萬弗丈け北京政府に交附せられたるも支那時局の現狀日に非なるより米國財界が該借款に應募すべきや否や疑問となれり(東京電報)

◎伯林の媾和時期觀測

伯林來電に依れば十日夜の英國首相アスキス氏の演説は十二日伯林に傳へられたるが同氏演説の調子從來よりも遙に温和となり獨逸を粉碎云々と極言せずして婉曲に其の軍人派をして獨逸今後の外交政策を悔悟せしむべからずと云へるを以て見るも英國が媾和の時機近きつゝあるを認むるものなりと伯林人士間に於ては一般に解釋せられ居り伯林の官邊にては今秋迄に交戰狀態終結すべしと觀測するもの多し(紐育電報)

◎滿鐵新計畫(事業)

滿鐵會社は本年度事業の一部として安母尼亞及び耐火煉瓦製造工場を設立する計畫中なりと(東京電報)

◎師團長會議終了

師團長會議十四日終了せり(東京電報)

◎山縣元帥容態

小田原古稀庵に靜養中なる山縣元帥重態なりと傳ふるものあるも病狀殆んど平癒に近づき最早危險の虞なしと(東京電報)

◎露大使御告別

近く歸國すべき駐日露國大使マレウキッチ氏は御告別の爲十七日宮中に參内拜謁を賜ひたる後御陪食を仰付らるべしと(東京電報)

◎四鄭借款好績

十日締切られたる四鄭鐵道借款五百萬圓の應募額は三千萬圓を超過するの好成績を收めたるは東京電報の如くなるが右應募額中南滿鐵道の百五十萬圓を除き他は仲買人の手を經由せる一般公衆の應募に係り東西銀行は全く引受くるを要せざりし由にて外國公債に對する申込としては意外の好成績なり

◎首相鐵道委員招待

大隈首相は日露滿鐵道連絡會議出席の爲め來朝中なる東清鐵道監査部次長ルグッキッチ氏を始め營業部長グーシトル氏外三名を主賓とし來る十七日頃早稻田の自邸に於て午餐會を催す由當日は陪賓として左の諸氏も出席すべしと
露國大使マレウキッチ氏、石井外相、添田鐵道院總裁、大屋朝鮮鐵道局長官、古川鐵道院副總裁、江木内閣書記官長、小池政務局長、木下運輸局長、大園監督局長、三本朝鮮鐵道局營業課長、佃滿鐵理事

◎朝鮮興業總會

朝鮮興業會社にては來二十五日午前十時より本社樓上に定時株主總會を開き土岐、横服部全太郎兩監査役任期滿了に就き改選の件並に左記利益金處分案を附議する筈

當期利益金	二二七、九〇八圓
内	
法定積立金	七、〇〇〇
役員賞與金	五、〇〇〇
株主配當金(舊一株ニ付キ三圓 年六分)	九〇、〇〇〇
(新株一株に付七十五錢 年六分)	二四、〇〇〇
後期繰越金	三、四〇八

◎總督邸晩餐會

寺内總督は十七日午後六時半より入京中なる各道憲兵隊長警務部長を官邸に招き晩餐の饗應を爲す由、總督府各部長官、局長、所屬官署長等亦陪席の筈なり

◎總督邸園遊會

寺内總督は二十二日午後軍司令部内將校並に今回更代の第九、第十九師團將校全部約四百名を官邸に招待し園遊會を催す由當日は總督府各部長官局長、所屬官署長官並に總督府、警務總監部各課長も出席の筈なり

◎警務部長會同(第四日)

憲兵隊長警務部長會議第四日は十四日午前九時より總督府第二會議室にて開催、寺内總督はじめ各部長官局長、千葉課長、所屬長官等出席古海總長統裁の下に諮問事項の答申及び指示事項等あり、正午休憩の後午後一時より憲兵隊司令部會議室に再開各隊部長等の注意事項等ありて午後三時散會せり

◎荒井長官訓示

第三回道府郡島書記土地測量講習員に對し荒井度支部長官は十三日左の訓示をなせり

▲講習會の目的 土地調査の事業に伴ひ大正三年度に於ては十二府二十六郡、大正四年度に於ては一島二十五郡に土地臺帳を設備せり大正五年度に於ては一島七十三郡に土地臺帳を設備する豫定なり、土地臺帳は之を以て地税の基礎と爲すと共に地籍の確立を期するに付土地臺帳の異動整理は極めて正確なることを要す殊に異動整理の爲めに地籍圖を改訂する等事多くは技術に屬するを以て大正三年以降毎年土地臺帳を備ふる府郡島及び之を管轄する道に在勤する書記を召集し土地異動整理に必須なる事項を講習せしめ以て土地異動整理の完璧を期することゝせり本年も亦茲に諸士を召集し土地測量講習を開催して上述の目的を達成することゝせり

▲異動整理と課税 府郡島に於ては土地臺帳と共に地籍圖を設備し兩者相俟て地籍の確定を期す地籍確立するに伴ひ土地の經濟取引を促進し勢ひ土地の異動即ち分割合併地目變換等は頻繁に行はるゝに至るべし而して土地臺帳及地籍圖は課税と[illegible]なるを以て之が異動整理も亦最も精確なることを要す若し其の整理を缺き又は杜撰に亘ることあらば課税の衡平を缺き[illegible]ざるに至り民人の權利に至大の影響を及ぼすべからず從て土地の異動整理は速且確實ならざるべからず本講習會は實に之に適應する技能を授けむとするものなり諸士は斯の趣旨に留意し[illegible]

◎長官會議延期

十四日は定例長官會議日なりしも警務部長會同の爲め延期となりたり

◎渡臺官吏出發

總督府學務局長關屋貞三郎、商工課長青木戒三、專賣課長平井三男三氏は臺灣勸業共進會並に植民地施政視察として十五日午前八時三十分南大門驛發臺灣に向ふ、三氏とも下關より因幡丸に搭乘臺北に直行の筈なるが視察期間は一箇月にして日程は到著の上ならでは決定せざるも多分一致の行程を執るべしと

◎遞信局會計檢査

河野會計檢査官の一行は十三日より向ふ五日間の豫定にて遞信局の會計檢査を爲しつゝあり同檢査官は主として遞信系統官廳の檢査を行ふ由

◎今泉會計檢査官

會計檢査官今泉國太郎氏は外三名と共に二十日頃東京出發來鮮の筈なり

◎立花師團長著任期

師團長會議列席の爲め東上中なる新設第十九師團長立花中將は多分來る二十日を以て著任す可しと

◎野田副總裁視察

野田東拓副總裁は會社の關屋土木課長を隨へ十四日蠶島に赴き長安坪開墾工事の實況を視察し即日歸京せり

◎持地局長容態

持地土木局長六三郎氏は肺炎にて引籠療養中なるが危險時期は既に過ぎ去り昨今は大分快方に向へりと

◎新設師團諸兵出發

立花師團長は十六日頃東京出發

朝鮮新設第十九師團の須田參謀、菊地副官、早川經理部長、中河原獸醫部長、山田法官部長等の師團司令部員並に第四師管篠山步兵第七十聯隊、和歌山步兵第六十一聯隊の各一中隊は何れも十二日著阪市内に分宿し之れに在阪步兵第八同三十七聯隊の各第一中隊を加へて新設步兵第七十七聯隊の第一大隊長(小柳少佐)並に騎兵第二十七聯隊の一中隊、同野砲兵第二十五聯隊の一中隊も編制完了したるに付き司令部以下十三日午前十時大阪築港より御用船松山丸にて出帆したるが其の搭載人員は第十九師團司令部以下約六百名にて第二回は十四日、第三回は十八日出帆の豫定なり尚ほ立花師團長は十四日師團長會議終了すると共に十六日頃東京出發二十日午前師團司令部所在地たる龍山に到著の上師團長著任の式を擧ぐべしと因に新設師團の大砲は龍山兵器支廠に於て砲兵隊に引渡すべしと(大阪電報)

◎補充憲兵著期

朝鮮駐劄憲兵補充員六百五名は十六日午前八時五十分著列車にて内地より到著先づ光化門前なる舊京城憲兵隊分隊廳舍に入り二箇月間教習をなし了りて上各地憲兵隊に夫々配屬せしむる筈なりと教官には京城分隊長小山田大尉他數名其の任に當る筈なりと

◎朝鮮視察團來る

大分市商工會、實業懇話會、二十日會の三團體發起にて田中大分縣内務部長外有力者約三十名の朝鮮視察團は本月十五日出發十六日朝釜山著、十七日午前入京市中を巡覽し濟京中仁川に赴き十九日午前京城發開城、平壤を經て安東縣に到り引返して新義州水原大邱等各地を視察廿三日退鮮の筈

◎東清運輸監督

東清鐵道運輸監督ホボウイツチ氏は東京にて開會中の日露連絡運輸會議に列席の爲め十四日夜京城通過の列車にて東上の筈なり

◎鴨綠江運航開始

鴨綠江も春暖に伴ひ全部解氷し上流方面よりの流氷も殆んど跡を絶ちしより同江命令航路受命者鴨江運輸公司所は八日より上流に向つて其の航運を開始したる旨其筋に報告ありたるが昨年に比し開航時期は三日早しと

◎巨濟丸離洲

朝鮮郵船會社の釜山濟州島間航路就航船巨濟丸(一五二噸)が十日午後一時頃濟州港沖合加德島附近に坐洲せし事は既報せしが其後同社にて百方手を盡し浮揚に盡力せし結果十三日午前七時漸く浮き揚り直ちに釜山へ歸航十四日より新に航路に就きたるが船體の損害は皆無なりと

◎參業組合長新任

開城慶[illegible]支部管内人蔘耕作特別組合にては役員任期滿了の爲め過般全部の改選を見たるが組合長には前郡守朴宇鉉氏當選せり

◎京城專修學校開校式

京城光化門通り京城專修學校にては十五日午前十時開校式を擧行すと

◎不穩なる東三省
民心漸く北京政府を離る

滿洲の形勢漸く不穩を加へ來れるは嘗て第一回革命の際關外軍に屬せるもの數名連署して北京政府の非を唱へ奉天將軍段芝貴の批政を難じたる檄を今次各方面に飛ばしたるは常に其の暴發の前提とも見るべく恐らく之を第一聲として更に第二第三と盛に檄を飛し以て人心を煽動挑發し

▲大事を擧げん 目論見なるもの、如し之に對する奉天官場の狀成頗る嚴密なれば革黨員の企圖果して成るや否やは猶ほ疑はしきも東三省の民心が漸く北京政府を離れ其術策に勝ちたる政治振を喜ばざるは確かなる事實にして南支動亂の結果帝政を取消したるも其にて滿足し居るとは認められず殊に北京政府の威信殆ど地に墜ちたる今日その股肱の人なる段將軍において百方動亂の眞相を隱蔽し若くは之を過小的に吹聽し專ら民心の緩和を圖るに努むるにもせよ他方革黨員等の飛檄、流言、勸說等もありて北京政府の威望を疑ふもの漸次その數を增加しつゝあれば茲に勢ひ民心の動搖を見るを免がれずして革黨員等の運動はこゝを附目として案外手廣く行はれ居るもの、如し斯る折柄更に憂ふべきは

▲東邊農民の困厄 とに之より生ずる農民の不平なり滿洲は屢々百姓一揆の起る處にして農民の懇擾救濟は當路者の常に意を用ふる所なるが一昨年來農產物は槪して不作を發作の處へ大豆雜穀等を奸商の爲に極めて安値に買取られたる事實あり彼れ是れにて農民の窮狀一方ならざる今日北京政府は充分に其の救濟策を行はざるのみならず帝政籌備の費を得ん爲め地方官をして土地淸丈又は耕地整理に藉口して一天地洋三元の增税を強ひ不納者は之を捉へて糺問し甚だしきは其の田地を沒收する等の苛酷手段に出で此間例の中飽を事とする貪官汚吏も尠からず斯くの如くにして東邊農民の間には北京政府其の官僚を怨離するもの次第に增加し愛に帝政の取消されしや我の厄難聊か去れりと大に喜びたる者もある位にて實際農民の困厄と不平とは絶頂に達せる姿なれば

▲危機玆に存す とも云ふべくして革黨員の飛檄煽動して步を進むるに隨ひ民心益々動搖し竟に或は一大事變の勃發を看るに至らんも知るべからず去れど今日は唯だ形勢不穩なりと言ふ迄にて革黨員の計畫たるものも未だ一向に取止めたる事あるにあらず殊に遼西北鎮縣に於いて滿朝恢復、袁總統派討滅を目的とする忠義軍なるもの組織され衆民より資財を募り一方蒙匪と勾結して將に事を擧げんとせしに二十八師兵の爲に採知せられ首魁以下五十餘名は直に捕殺せられ連累者百餘名も殆ど誅捕し盡されしが是れは革黨員の計畫とは何等關係もなき特種の企てなり討袁の旗を飜へし一舉莊河を衝かんとした馬賊の頭目黄四顯王の如きも大孤山における巡防隊の一擊に脆くも山東に遁竄せりと傳へられ猶ほ貲と共に馬賊の巨魁と目されし藍大の如きも其後杳として其の消息を絶ち更に再擧の計あるを聞かず而して是等の馬賊と革黨との間に何程の連絡あるか或は全く交渉なきか其邊のことも一向不明なるが

▲南方に策應し て北方にも事を擧げんとの企畫は暗默の間に絶えず行はれつゝありて宗社黨の一部も暗中飛躍を試み軍警界にまで其手を伸ばし彼等の心を動かさんとしつゝあるは隱蔽し難き事實なり軍警界の一部之れに應じて起らば其こそ一大事にして事茲こゝに其端を發する譯なるが注意人物たる二十七師長張作霖の態度猶ほ甚だ煮え切らざるものあるを以て前途の如何は未だ遽に言ひ易からざる也(大連)

◎蒙古王公會議無期延期

東蒙古各旗王公は漸く北京政府を離れ形勢不穩となれり北京政府の懷柔策も今日は何等效能なきが如く四月中旬に開催の蒙古王公會議は無期延期となれり(大連特電)

◎上海は砲聲一發のみ

十三日朝一發の海軍砲聲上海に轟きしも其の後何等の砲聲なく[illegible]八百名は砲聲準備中なり(上海電報)

◎李將軍と獨立戰

上海來電に依れば江西將軍李純は十二日獨立戰を爲せりと(東京電報)

◎朱將軍殺害說

上海來電に據れば浙江將軍朱瑞は革命黨の爲め殺害されしとの說あり(東京電報)

◎新師團兵渡航

今回朝鮮に新設の十九師團司令部須田參謀以下新設步兵七十六聯隊の大隊長小柳少佐騎兵二十七聯隊土屋中佐等總員七百十名は御用船松山丸にて十四日朝大阪より門司著同地にて久留米師團の騎兵五十名及び大阪以西各師團豫備憲兵四十一名便乘午後四時出帆釜山に向へり(門司特電)

◎練習艦笠置

海軍機關少尉候補生四十九名を乘せたる練習艦笠置は十三日午前十時青島より旅順に入港す戰跡見學其の他各方面視察の上二十日大連入港の豫定なり(大連特電)

◎山縣政務總監

山縣政務總監は十四日朝關釜連絡船にて下關上陸九時五十分發列車にて直に東上の途に就きたり(門司特電)

倭館

▲市場近況 近來出穀著しく減少せる重なる原因は貯穀少量と價格の不振殊に洛東江減水の爲め水運を利用する能はざるによる然れども又一方には穀商先高を見越し買溜め置きたるもの可成多量に達せるを以て移出相當にあり前月中移出穀量は玄米六千六百七十三叺大豆三千七百五十一叺なりし

金泉

▲產業 昨冬頗る暖氣なりしに引換へ近來餘寒の爲め春麥發育不良なりしも氣候回復降雨等により稍々回復せり▲市場 取引は市場出廻り減少市況沈滯米價不昧と日用諸物價昂騰の爲め困憊を感ずるもの少なからず▲金融 市場取引減退の爲め資金の需要起らず金融槪して緩漫金利一步八厘鮮人間三步の間にあり

慶州

▲金融界 金融界は引續き緩漫なる爲め氣直りなく舊態を持續せり市場取引も穀價依然軟弱の影響を受け大口取引なく貯米者は前途の見込み立たざる爲め放擲するもの增加し金利の如きは内地人二步五厘内地人對鮮人三步を上下しつゝあり

人事消息

▲曾禰閑氏(黃海道長官) 十四日歸任
▲佐々木藤太郎氏(慶南道參與官) 同上
▲樫野村太郎氏(南滿醫學堂教授) 十三日午前内地より釜山上陸北行
▲富山東雄氏(慶州金融組合理事) 同上
▲佐々木久氏(大邱八十聯隊附步兵少佐) 同上
▲入江海三氏(元山守備隊長步兵少佐) 同上
▲中小路鎮太郎氏(帝國鐵道會社員) 十三日發滿洲へ赴く
▲赤木萬次郎氏(平壤中學校長) 十四日午前入京城ホテルへ
▲沖本明雄氏(永登浦警察署長) 十四日午前入京濟州光館へ
▲石崎梅太郎氏(高敞警察署長) 十四日午前入京不知火へ
▲宋秉畯氏(子爵) 十四日午前水原へ
▲板東勘五郎氏(代議士) 十四日新義州より平壤へ
▲佐藤小次郎氏(第九師團參謀長) 同上
▲佐々木藤太郎氏(慶南道長官) 十四日朝京城より三浪津へ
▲大内鐵道院參事 入京中の處同上歸東
▲桑原八司氏(咸北道長官) 同十四日元山へ
▲加納男爵令息 過般來鮮[illegible]附近にて狩獵中の處[illegible]
▲男爵岡珍巖氏 入京中の處十三日午後水原より歸京
▲長崎[illegible]氏 入京中の處十三日午前京城へ出發

□倫敦に著きて
坂田鳴海

其後は御無音申上候

鷄に沿うて冷か渓流れけり

印度はヒマラヤの山莊に一番鷄を聽きた明方は中々冷たかつたが、南下してマドラスの十二月、霖雨に閉込められた農村の宿は蒸暑い事でした

河べりの蚊帳釣草に雨細し

大いなるサボテン六尺の壽かな

大三十日に古倫母港を船出した賀茂丸は物騒な地中海を避けて南阿廻航となりまして非常に暑い初日の出を印度洋上で迎へ、然かも元日の午後赤道を通過しました

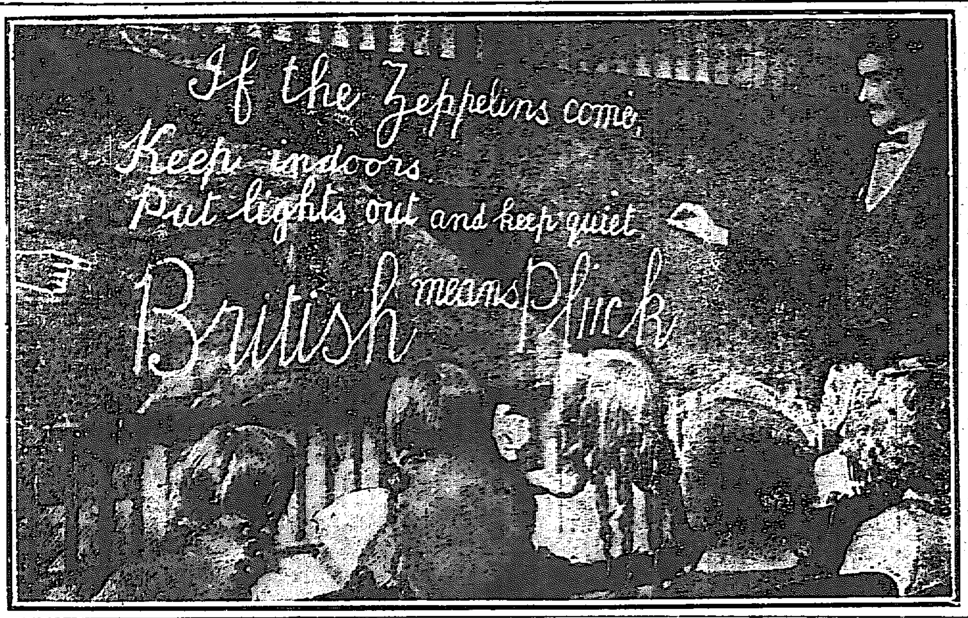
雲の峰南に喜望峯近し

御案内の通り南半球の一月は夏の眞盛りで南阿ナタルに錨したる並樹の道を踏み、喜望峯廻りてケープタウンに聯邦の殷盛を見てカナリー群島の沖にかゝりましたのが一月の下旬で丁度獨逸の假裝艦メーウエ號が此邊の海を荒れ廻つて居る事を無線電信で承知した賀茂丸は佛領セネガルのダーカー港に入つて約三日樣子を見計うて出帆、ジブラルタルを入りマルセーユに二月上旬つきました、小生は佛國を通りぬけて二月半倫敦の客となる當分滯在し四月半には米國に渡り五月末か六月初に歸朝のつもりに御座候

(本信は昨信の以前に到著すべき筈なりしも昨信は西比利亞經由なりしより早く到著したるものなり)

此頃の英國小學校

英國では時々獨逸飛行船の夜襲があるので小學校で先生が生徒に『若しツエツペリンの飛行船が來たらば家に入つて明りを消して靜にしておいでなさい』と教へて居るさうです



閑院兩殿下の御渡臺

御召艦肥前にて船中御微行

臺灣共進會開會式に台臨の閑院宮載仁親王殿下同妃智惠子殿下には松井事務官、中島御附武官、吉田御用取扱等を隨へさせられ十二日午前九時四十分神戸驛著御著知事、市長、御召艦肥前より水野中佐、野中稅關長、其他愛國婦人會員二十數名の御出迎ひを受けさせられ直ちに馬車にて米利堅波止場に向はせらる殿下にはカーキ色軍服に大勳位を帶せ給ひ妃殿下には雪白のボンネツトに淡鼠の御洋裝にて同十時波止場著肥前の艦載水雷にて吉田御用掛、總督府より御出迎ひの參謀長秋澤大佐と同乘同十時十五分肥前御著中島艦長の御出迎ひを受けさせられ殿下は右舷室に入らせられ同二十五分拔錨したるが基隆著は十六日正午の豫定にて御船中は非公式の御微行にて同地著と同時に公式とせらるゝ御都合なりと(神戸)

古稀庵に勅使御差遣

毛利公以下の訪客多し

小田原古稀庵に滯在中の山縣元帥は數日來病氣の爲め臥床中なりとの事に十一日同別莊を訪問し古口家扶に就て質したるに『閣下には兩三日前より風邪の氣味にて安靜中なるが差して心配する程の事には之無し』との事に更に同別莊出入の宍路醫師を訪ひたるに『閣下には東京の椿山莊に居られた當時より腸を痛めて居られたが昨今再發されたものである何分老體の事であるから今後の事は何れとも申上兼る』との事なりしが十一日午後七時勅使小田原邸御差遣あり三浦醫學博士、毛利公爵等見舞往訪者多し(東京)

變裝俘虜

奉天行の切符

既報の如く福岡俘虜收容所を逃走して以來天に翔り地を潜つて所在を晦まし未だ逮捕の消息傳はらざる獨逸俘虜將校の中一名は先程東京に姿を現はし更に鎌倉方面に逐電せしよと見る間に彼は十日午後八時東京驛發の列車にて奉天行の切符を買求めて西下したる形跡あり本名はサーリングと稱する陸軍中尉なる趣きなれどもアントリツヒと變名し居り一見

▲商人體に裝ひ居り 目下其筋にて追跡中なるが彼の神秘的行動は單に自己の身を逃れんとするのみに非ずして必ずや恐ろしき大陰謀を暗裡に仕組みつゝあるものゝ如く當局は近時歐洲に於て續々に續發する工廠の同盟罷工火藥庫爆發等の活劇が我國に於て演ぜられん事を惧れ居り若し彼にして速かに就縛せば彼等の計畫は恐く暴露して事を未然に防ぎ得べしと

▲俘虜二名逃亡 十日午後六時より十一日午前八時迄の間に於て福岡縣久留米收容の俘虜ソルター、ストレン(十九)エルンスト、タルモノラバー(二十)の兩名は何處にか逃亡せるが横濱に入込める形跡ありとて同縣警察部に逮捕方を依頼し來れり兩人は日本語に通じ居り千葉收容の俘虜と屢々文書を往復し居たる形跡あり横濱より船にて逃亡を企てたるものゝ如しと(東京)

似非記者檢事局に送らる

岡山縣川上郡松原村當時京城南山町二丁目都旅館止宿山時月事山川茂雄(三七)福岡縣久留米市新町生れ當時京城旭町一丁目九州旅館內筑南事權島盛治(三七)新潟縣中頸城郡妻谷村生れ當時京城旭町漢京旅館內越南事春日良念(三九)茨城縣水戶市上市中町當時南山町三丁目四國屋內天涯事宮田知明(三二)四名は共謀して東京日比谷衆議院構內時事通信社の出張員なりと稱し議院俱樂部及び京城支社の電話番號を記入したる大型の名刺を携へ山川は編輯長權島は外交員春日は記者なりと稱し雜誌大國民附錄朝鮮號を發行すると稱し廣告料及び購讀を勸誘して市內の實業家等を歷訪し居れるを本町署に於て探知し同人等に就て取調べの結果京城支社の電話は南山町三丁目四國屋旅館の電話の番號にして勸誘して領收したる金額は生活費遊興費等に消費し居れること判明したるが訪問して勸誘したるは本年三月十八日より四月五日迄の間にして主として各會社知名の實業家にて一回に三圓乃至三十圓位を受取し合計十六戸より二百二十二圓を徵集し居れり前記の中權島は滿洲の各地にても同樣手段にて集金し居れる模樣なるが右につき取調べの上何れも本町署より檢事局に送られたり

群山の晝火事

十二日午後一時頃群山東榮町臨陂產業組合群山出張所の所屬に係る隣接空地に山の如く堆積せる十萬餘の叺より發火し附近の者の發見せし時は既に遲く急報に依り群山警察署より寺島警察署長指揮の下に全署員出動し群山消防組合よりは蒸汽喞筒を引出し水道事務所よりは所員驅け著けて消火栓を開き一齊に消火に勤めたる結果幸に他に延燒を免がれたるも何分山の如く積み重ねたる內部より發火せし爲め火勢容易に衰へず全く鎭火せるは午後四時なりし其原因に就ては目下取調中なるも叺の中より堆積せる所を發見し中には緋子紋付袷綿褓古單衣其他に鎌二本錢一本包みありたり(群山)

主人殺し鮮人は死刑

昨年十一月十七日夜大阪東區搭尾町古物商佐々木芳松(五七)を細帶を以て絞殺し現金三十餘圓を盜みたる雇人の朝鮮慶尙南道生れ李鳳化(二二)は十二日大阪地方裁判所刑事第一部にて死刑の判決言渡ありたり(大阪)

京龍徵兵成績

內地より遙に優つて居る

龍山駐剳步兵第三十五聯隊管內今年度の徵兵檢査を四月一日から六日迄同聯隊本部の構內で執行されたが八百六十三名であつた此中六週間現役兵が五十七名、現役志願者が廿一名、他の七百八十五名は普通の壯丁である、右の內死亡したものや犯罪に依つて收監されたものや病氣の爲めの不參者等が六名あつた、檢査成績から見れば甲種合格者が三百五十九名あつた、此點から見て京城龍山を中心として朝鮮に居住してゐる壯丁の體力は

▲比較的に強健 なものが多い、第一乙種が七十一名、第二乙種が百二十四名、丙種が二百七十名、丁種が二十九名、其れから戊種が四名あつた、更に其の身長から右の人員を見るに五尺七寸七分の大兵を頭として四尺二寸九分といふ一寸法師もあつたが是は特別の例外であつて

▲大抵五尺以上 である、次は體重から見て最重者が十九貫四百三十匁で七貫百匁が最輕者である、年齡は滿十七年以上廿七年迄の者であつた、六週間現役兵のみは學力試驗を省略した他の者に就て學力程度を調査したものに依れば大學卒業校及び同程度のものが三十一名、高等學校卒業程度は皆無で中學卒業及び同程度のものが百七十九名、高等

▲小學卒業程度 が三百卅八名で是が最も多い尋常小學校卒業程度は二百四十四名で稍讀書力のある者が五名で更に一丁字なきものは僅か三名であつた之を內地の壯丁に比較すると遙かに好成績である、次に體格の不合格者の重なる原因とも見るべきは、身長不足の者、耳聾者、膝關節に傷痍あるもの、指の不完全なるもの或は病症に依り切斷されて不具なるもの、傴僂などであつた

雉百卅五猪四

加藤男爵令息の獲物 加藤男爵令息孝一氏は從者と共に過般來湖南線長城に入り附近を狩獵し居たるが雉百三十五羽、猪五頭の獲物を携へ十二日長城を發し歸東したり(大田特電)

聲樂から見た朝鮮の歌

春に相應しい南歐の詩 作曲に獨創的の獨逸人 山下頼子孃の談

噂々たる朝の光に御殿の花が金色に咲き亂れた十四日のである、寫眞は聲樂家山下頼子孃

朝化粧の美しい下ふくれの初ひくしい頬に藤色お召の袷が華やかに映えて瑞々しく小鳩の樣に優しくつゝましい噂をあげて孃は語る、此方には二月の初、寒い頃に參つたのですが何度も演奏會に引張り出されそうに成つたのですが毎々お斷りばかり致して居りましたが、モウ近い內に內地へ歸りますので

山下頼子孃

お名殘 りに今度鍾路の青年會の演奏會に出る事に致しました京城の人達は大變耳が肥て居らつしやる其上非常に此方面に御趣味をお持ちに爲つて居らつしやる方が多い樣に伺つて居りますが私の方から申しますと大變よくお分りになる方よりも非常にそれをお好みに爲つて聞いて頂く方が結構で御座います、大變にお分りになつて種々と御批評など爲れますと困りますから――とわざとらしからぬ謙遜の態度にて――今度演奏します曲は何も

賑やか な曲とさうして大變やさしい曲とばかりでして、殊に最終のカバチーネ、ロシニーの作曲は春に相應はしい賑やかなそして柔らかな曲であります、すべて伊太利の曲はよく南歐の美しい人情や綺麗な風景や温和な氣候を現はして居ります伊太利の人達を見ましても大變に綺麗な聲と美しい瞳とを持つて居ります東京などに來て居りまする事が目に付くほどでありますまことに遠い昔から永い長い間を希臘や羅馬の美しい詩と優しい情緒とに養はれて來た人達であると云ふ事まで感ぜられるのです、どうしてもシンミリとした優しい情緒や絢爛たる華やかな

敍事詩 は伊太利語で歌はれなければならぬ樣に感じられますほんとに伊太利や希臘語はどうしたら直ぐにでも詩になりさうな、流暢な言葉です、英語の歌は何處か角ばつて窮屈の樣に感じられますし日本語も歌ふ時に何處やら物足らなさとギコチな處とが感じられます、暢んびりとした意を暢んびりと謠ふにはどうしても南歐の詩と其言葉とでございませう(一寸目を瞑つて)それでありながら作曲は矢張り獨逸の人達のものが一番に宜しい樣でございます細密な處に頭を用ひるのは矢張りゲルマン族の

特長な のでせう、詩と氣候との關係は密接なものでせうと思ひます日本などでも關西から南の方に多くの聲樂家を出して居りますが關東から東北へかけての人の內から出た聲樂家は誠に少い樣であります矢張り暖かな地に生ひ立つた者の方が聲樂などに適するのでありませう、私は稚い時分から凡ての聲樂に對して大變の嗜好を持つて居りました時々妹乃などを聞いて堪らなくなる樣な憧憬を持つて居りました斯した音聲の

情緒的 敏感が私の今を拵へ上げたのでせうそれでも何んだか一寸聲樂家など云ひますと柴田さんやなんかの事もありますし人に妙な風に思はれたり云はれはしなからうかなど〻心配になりますと霞ほどのあえかな春の愁ひが眉を蹙めた(つゞく)

●江原道の暴風 江原道襄陽郡及び江陵郡地方は十日朝より同……暴風あり……

……際の年齡六十九歲なるを八十二歲……報告し……の天杯及び酒肴料……

……浦鹽より門司入港の郵船立神丸乘組員の談に依れば十日午後九時玄界……

……て振り返る際左眼の下を突き左足關節前、額部其他にも負傷せしめたる……

抱鳴妓朝香事汐崎しげ(二〇)は十三日以降四回に亘り本町四丁目の某醫師……

一等(九名)山田寧二、岡夏代、志賀誠英、渡邊一郎、入江國三、椎野孝太郎、町一色留、外人二名 二等(五十二名)月田勉……

相川國由……次郎、同八代、同行……勝三郎 三等 三百八十一名……

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三 ……

壽座 本町 電話五七八 ……

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 ……

日延仕候 連日滿員に付十五日迄日延べ 『うき世劇』 大正館

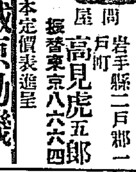
壽館 電話一〇五〇

浪花館 明治町 電話二六〇番

滿蒙處分論 京城日報代理部

純粹培養ヨーグルト 模範牛乳 東亞牧場 京城蓮池町四 電話三二五番

南部鐵瓶 岩手縣二戸郡一戸町 問屋 高見虎五郎 振替東京八六六四



製材機械原動機 其他一切付丸鋸共 賃貸又は割安賣却 鑛山機械專門製作 南大門通五丁目 電話一〇四番 中根商會

大阪堂島米穀取引所仲買人 今延商店 電報略号 ムヤ……

二角折 實用新案 國益製簇器 一組四圓五十錢

養蠶家奮起せよ本年の如き蠶絲界の盛況は再來亦遠し 改良農蠶器具一式販賣 目錄送呈 東京上野 內外農蠶器商會

小資本にて金儲け現る 大澤商會

ダリヤ 京城西大門外竹添町二丁目 千草園分園

ボールト專門 カスガイ 京城府龍山 鳥田鍛冶工場 電話四九番

國定教科書年中取扱(ヤ)一百般の書籍 中島邦文館

公告 京城府 大正五年四月十二日

温陽温泉 閑靜にして避暑避寒に宜し

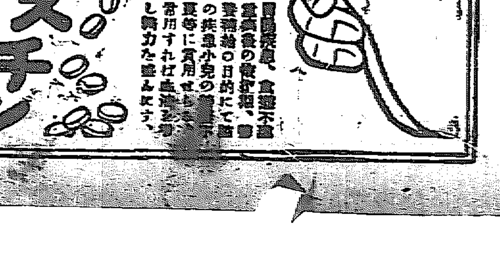
Mえぽ

主治効能 蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱、夜なきの虫、乳あまし、虫腹いたみ、疳熱の虫、虫胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫 岩崎大海堂

虫下し最良藥 美味なる 定價五錢・十錢・廿錢・五十錢

質 京城黃金町二丁目(永樂町停留所北入) 堀佐營業所

胃腸最新藥 デゲスチン



曇り後晴れ 四月十五日

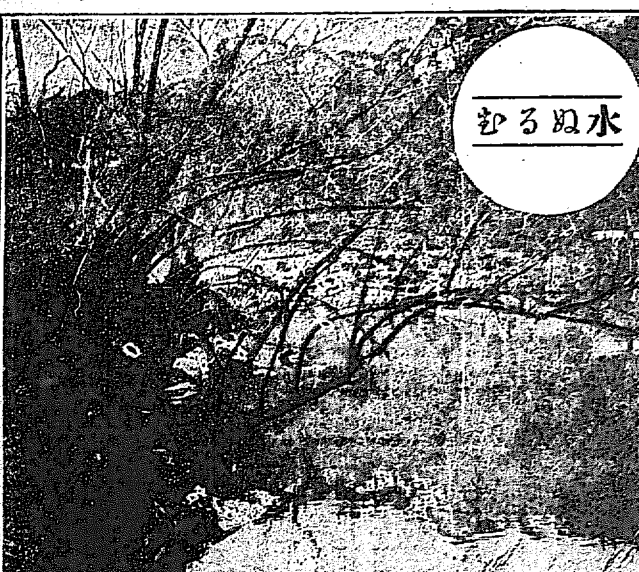
管長に五萬圓の運動費請求

天理教管長大阪正松村吉太郎の文書僞造事件は去月十九日豫審終結以來同人は豫審中とて一切の面會を避け居りしが在勤の記者に對して左の如く語れり

本件は文書僞造行使私書僞造行使の二つであつて全く天理教獨立運動に關係したものである、小川と自分との關係から惹起したもので抑も天理教が獨立をしたのは明治三十九年で同年八月管長から當時の西園寺内閣へ獨立請願を出願したが同内閣は四十一年一月瓦解した結果運動も一時頓座を來して折角の希望も水泡に歸して了つた、次で桂内閣となつて運動を續行して願書は宗教局長から戻されたが古賀廉造氏の斡旋で四十一年十一月廿七日遂に認可されたのである其るものが神崎神道本局長は松村のために紹介し神崎から小川作次郎を紹介された、又小川から吉田義正を紹介されて吉田が古賀氏と同窓の關柄であるとて古賀氏を紹介し呉れた其處で私は上京して芝浦の生洲で神崎小川吉田の三名を招待して大體の運動方針につき打合した（四十一年七月末）其れから引續き滯京し運動準備中八月十日右の三名が私の旅館を訪問したので私は更に神田の金星樓に招待した其時彼等が運動費の出金を迫まられたが私には少し考へがあつたから一先づ歸つて此の旨管長に復命した、次で九月二十日再び上京したが五日前に小川は横濱埋立地事件で

▽宮城監獄に 收監されたと聞いたが、小川は不屆にも相談の纏らざる中に獄中から代理人橋本薫をして二千五百圓を提供せよと申出でたが已を得ず百七十圓渡した然るに又も後に至つて小川は兒玉辯護士を代理人として二萬五千圓の証告狀を中山管長宛にて内容證明郵便で寄越したかと思ふと四十五年一月中旬又も五萬圓を請求して來たからそんな馬鹿な金は出せぬと吉田を介して五百圓を呉れて遣つた小川は監獄を免せらるゝなり大浦某山崎信藏等を連れて丹波市の扇屋に陣取つて毎日の如くに私の宅へ押掛け來て金を出せと迫つたので四百圓を與へた、其時小川から受取書として一通差入れた

▽金四百圓也 右金額御惠み被下有難く御禮申上候就ては今後小生は天理教會へは何等の義をも申出間敷候爲後日依而如件 然るに小川の告訴理由に依ると一金四百圓也右は天理教獨立の際拙者の盡力したる報酬金本部へ請求の節前記の金員差引被下て差問なし後日の爲め依つて如件と云ふのであるが小川は其後も三十萬圓提供せよとか何んとか云ふて來たが素より受け付けるべき理由のものでないから跳付けた、運動最中には莫大な金も撒いたが何れも時效に係つて居る（尚ほ豫審調書は千五百枚の多數に上り二十日を以て完結し二十四日午前九時第一回公判開廷の豫定なるも辯護人多數の申出あるを以て或は來月中旬なるべしと）（大阪）



電線盜の電死

草梁品川洞八十七番地池奉順（三七）なる者は屢々電線を窃取せし事ありしが十四日午前四時又もや窃取せんとして三千五百ボルドの高壓電流に觸れ即死せり（釜山特電）

仲裁人を毆る

京畿道龍仁郡生れ京城蓬萊町三丁目居住馬車挽金光植（二八）は三月二十八日正午頃揚州郡和道面梁峴里より京城に荷物を運搬の途中發病し詮方なきより同行者なる同業者孫鶴雲に對し自分の荷物中幾分の運搬方を依頼したるも拒絶されたるより口論を惹起したる際折柄通り蒐りたる揚州郡九里面仁念里の韓萬吉なる者が仲裁したるに光植は却つて之を撲り擧にて同人の顔面左脚等を毆り飛ばして負傷せしめ京城地方法院にて笞六十の處分となりたり

六人組の强盜

全北全州郡三奇面小向里居住農金正瑞方に去る八日午前一時頃手拭にて覆面せる六名の强盜押し入り中二名は表に見張りをなし四名は室内に入りて立ち騒ぐ家人を荒繩にて制縛し其の上から蒲團を被せ携帶せる三尺餘の墓標にて毆打したる上現金九十八錢外十數品を強奪し何れにか逃亡したるより其の筋にては所在搜査中なり

前科三犯の賊

高陽郡往十里生れ崔相文（二八）は强窃盜や家宅侵入等前科三犯の曲者なるが三月二十五日午後五時頃京城太平町二丁目細川某方にて衣類雜品七點（六圓九十錢）を窃取し京城地方法院にて懲役一年六箇月のお處刑

拐帶店員捕はる

釜山榮町三丁目長野悲三郎氏方雇人福岡縣築上郡宇島町長者町生れの吉丸俊雄（二七）は十一日主家の取引先なる土城町三谷愛吉氏方より九十六圓餘を集金し當の間は何喰はぬ顏をして仕事を爲し午後七時頃になり齒の治療に行くと主人を僞り其の儘連絡船に乘り下關に逃げ去りたり然るに一方主家の方では何時迄立つても俊雄の歸宅せぬのに不審を起し居たるに他の使用人が前記三谷方に集金に赴きし所小切手にて俊雄に渡した事が分り警察に搜査を願出でたるより警察署にては其れ〳〵心當りの方面に搜査方を依頼し置たるに十一日下關署に於いて捕はれし旨通知ありたりと

牛泥取押へらる

平南平原郡海松面趙光範（三七）は三月末頃の夜中同面橋閭洞金應祚方の牛舍に忍び入り牛一頭を窃取して平壤に引き行き江西郡所某に四十七圓三十錢にて賣却し其の代金は大部分費消し居たるを將別里酒幕にて鎭海門派出所巡査に逮捕せらる

新義州で御用

平壤府港町六十五番地張華三（三三）は昨年末頃舘後里百七十一番地丸山敏太郎方の留守中を窺ひ銀側懷中時計一個深ゴム靴一足反物一反シャツ一枚價格合計十三圓を窃取逃走行衞を晦ましたるが此際新義州にて同地警察署の刑事に取押へられ平壤署に護送取調の上檢事局に送られたり

商況

東京株式特電

	十四日前場寄付	大引
日本郵船	一八六、三〇	一八六、〇〇
日清紡績	一五九、一〇	一五九、〇〇
鐘紡新	一三三、九〇	一三三、六〇
同新	…	…
東株本	…	…
東株新	…	…
東新第一	…	…
東新第二	…	…

債券現物特電（前日との比較）

十四日川東價格

東京市債	…
勸業債券	…
興業債券	…
拓殖債券	…
朝鮮銀行	…
南滿鐵道	…

公債直取引特電（前日との比較）

十四日川東價格

五分利	九五、〇〇
甲號五分	…
乙號五分	…
四分	…
四分半	…

深川在米特電

十四日現在高

朝鮮米	一一五、六八三
内地米	一〇〇、一八九
	一、九八四、七三〇

東京期米特電

	十四日前場寄付	後場
當限	…	…
中限	…	…
先限	…	…

大阪期米特電

	十四日前場	後場
當限寄付	一四、一一	…
中限寄付	一四、二六	…
先限寄付	一四、二六	…
止め	一四、四一	…

下關期米特電

十四日前場（盛り正米高實にて小相場利喰ひめるも値返し）

	寄付	止め
當限	一三、五六	…
中限	一四、八八	…
先限	一四、三三	…

大阪株式特電

	前場寄付	後場止値	十四日後場
大阪株式	…	…	…
東京新株	…	…	…
大阪米穀	…	…	…
日本郵船	…	…	…
大阪商船	…	…	…
東洋紡績	…	…	…
鐘紡新株	…	…	…
日本紡織	…	…	…
大日本紡	…	…	…
大阪電燈	…	…	…
宇治川水電	…	…	…

大阪三品特電

十四日前場

	寄付	大引
三月限	一八、〇〇	一八、〇〇
四月限	一七、九〇	一七、七〇
五月限	一七、一〇	一七、五〇
六月限	一八、二〇	一七、九〇
七月限	一八、六〇	一八、三〇
八月限	一九、一〇	一八、九〇

朝鮮物産特電

慶山大豆	三、…	…
寧山大豆	…	…
浦項大豆	…	…
元山別大豆	…	…
鰲山蓮青	…	…
城津大豆	…	…
鎮南浦大豆	…	…
長淵大豆	…	…
光州小豆	…	…
仁川大豆	…	…
平壤大豆	…	…
群山大豆	…	…
木浦大豆	…	…

雜報

金巾類益不勢

金巾類は綿糸の不勢と輸入品の不振に伴ひ引續き漸落歩調にて十三日の大阪相場は綿ジーの四圓四十二錢五厘を最高とし二圓の高値より約五十錢方の値下を告ぐるに至れり此間當地も投物の續出によりて安値は更に安値を[illegible]

十三圓を普通相場

現今百二十匹組布一等品は漸く百四十圓より十三圓を普通相場とし然るに至り會社側も未だ商況變更の發表こそ爲さゞるも綿布界の大勢非なるを各販賣店の氣走り安に連れて漸次値下を行ひつゝあり眼先は賣行き不振と彼つて更に一段の下押しあるべし

蚊帳地と先行き

鮮人向蚊帳地は染料高と綿糸高の關係より昨年取引初期に比し本年は約一割四五分高に崩れるも同年末期よりする時は却つて幾分割安となり加ふるに前途高見越しなりしだけ各店共に相當買附約定を行ひたる模樣にて昨今移入し來るもの少なからず目下の取引は四十八九錢へを明れ前年の安値よりは六七錢高同年晩期の高値より五六錢安といふ見當なりし尚現在の入品に於ける問屋側の思惑しも見込外れて多き爲め此の際一向も振らざるを得ず面白からずといふ

四十八九錢へ先行きは餘り面白からず

洋傘類は强調子

洋傘類は其後引續き騰勢及び緩子の暴騰甚だしき爲め昨年に比すれば約三四割方高値なるも品質の影響につ内地は西情比較的良好にして例年ならば一層の相場として歡迎歩調を現出す可きに本年は至極萎縮含みの姿にて殊に關西方面は戰爭の影響にて雜貨品の注文其他にて經濟界好調を告げ居ることゝて貿易一層活氣を呈し居れる模樣にて阪地同業は仁川方面も引續きを益々好調を報じ居れり

原鹽の其後

原鹽は一時品薄を唱へられし原鹽も其後續々入港あると共に滿矢在品も潤澤となれり關東相場もチリ〳〵低落し昨今に於ては仁川五十三四錢なるが仁川は昨年前の如く現今二十般内外の在荷は前期戰爭のいへば今後仁川附近を見るも滯り離しと

五十三四錢

烏山方面の米況

目下に於ける烏山方面の出穀狀態は今や殆ど稀少數の持米を除く外貨物とては全く同地商人としては拱手徒らに日を送らざる可からざる狀態にあれば自然平素の關係區域に手を伸ばし漸く活動を爲しつゝある位にて之に對し買附をなす地に引取り直ちに京仁の注文に應ずるものなれば烏山としては目下賣買もなければ相場もなく有樣なり又平澤其他の出場所は移出の不引合の爲め各地の物資は如何に拘はらず人氣も一般に强氣となり何れも先高の途を辿り[illegible]

殆ど買控

大同小異の狀態

[illegible]

地場正米益安し

一般期米の活躍と同時に約五十錢方の突飛を演じ正米も內地米に比し依然割高を保てる地場白米は前期の關係に加へ期米又々安模樣に傾きたる爲め地場買人も次第に氣安の態度を示しつゝあり因に平澤方面は最近の高値より約三十五錢安報につ附當地に不引合なりと

下關相場

▲朝鮮白米は氣重し 依然內地期正米の人氣面白からぬに連れ一向買進まずして兎角賣れ行きの鈍情なる爲め市況氣重く然れども其後の出廻り多からぬのみならず產地も割りに强みを傳へずして自然不引合にもの有之故各米主の安くは手放さざるに依り別段相場の低落を見るに至らずれが弗々の出來直は左の通りにて其後の輸入は百四十叺のみ
▲大豆は矢張底强し 本品は其後買進む相人現はれずして期段市況活氣を呈するに至らずと雖も何分の地の人氣安からずして不引合なるのみならず極安の上物の如きは產地と共に各手持筋の意嚮に依り漸次市況好人氣なり而して烱川產三百叺許りは九圓三十錢に仟川產三百叺許りは九圓五十五錢等に手合せ行はれ其他弗々の出來直は左の通りにて入着したるは秋田產六百俵仟浦產二百十叺太田物百五叺等なり
▲小豆は格別征はず 其後北海產三百五十俵滿州產三百俵等の輸入ありしも兎角阪地との比較上不引合を唱へ各手持筋の賣り急がざるに依り昨今賣れ行き捗々しからず
▲朝鮮一等白米（常川）十三圓五十錢

田中金兵衛　一意期米賣買の委託に應ず　電話長一六二八番・一五二〇番

京城正米

△同一等白米（常用）	十三圓六十錢
△同二等白米（常用）	十三圓二十錢
△同	十三圓三十錢
△錦川霜青大豆	十圓四十錢
△同塊口	十圓三十錢
△元山大豆重上	九圓八十錢
△同	九圓九十錢
△行浦大豆塊口	九圓五十五錢
△深川大豆	九圓七十錢
△長端大豆	九圓七十五錢

益々安模樣

人氣は地場相場頗る弱含みにて賣方に變らず頑强の態度ありと雖次第に買人の安氣配に連れつゝあり頓て來引合居りし烏山方面も此處安氣配に反もや不引合となれり精米口も高値は買へず安値は賣らず此處當分一寸見送りの姿なり

南大門の廻穀

烏山玄米 三三叺 水原白米 四〇叺
水原白米 六一叺 一山白米 四八叺

仁川現物市場

▲仁川入津三百餘俵
黄海道四斗七十五錢より五圓十錢
忠淸道五圓五六十錢迄
七八十錢替にて捗々出來氣配騷らず
▲正米入津三百餘叺
氣配は別段變らず唱へにて各種共買物薄にて依然取引模樣なく商談捗々敷からず
▲大豆入津なし
氣配依然鈍含み

仁川期米

十四日前場 九錢安の入電

昨日三十三錢と昨日より九錢より三錢引先十一圓八十八錢と當地も三錢引先十一圓十八錢と九十一錢を寄付たるが戻りは久買物多く[illegible]に跳ね返したるも買物多く徐々に五錢と押したるも依然賣唱らぬ

底强き成行

▲十四日前場 前場出來高百五十石、前場當限（十一圓十二錢三錢）中限（十一圓十二錢三錢四錢）先限（十一圓十二錢三錢四錢）五錢

市場零聞

前場底强し

大阪十四日前場は寄付にて十一圓十二錢より買物多く④に至り强き成行を示し押したるより買物多く十一圓十二錢と返し底强き成行で、後場は前場の盛況に引續き昨日の閑散を呈したる反動[illegible]

目先利喰に新規買物多く

[illegible]

期米目先觀

成行に比し底强き成行を示し居れり

利 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話長九〇五番 電信略號リ

八錢と迄縮少 遂に三圓〇

時三圓五六十錢の大下鞘を開したるが漸次縮少し來り今日の相場の如き遂に三圓と迄縮少するに至りたるは正米の形勢より見て因とも見るべき者は[illegible]

外不割の期米 一部賣方

[illegible]

東西鞘寄せ

朝追々縮少し來るより一見奇異の觀あるが非情を異にする仁川大阪兩市場は當然の成行なれば東京大阪市場は昨秋以來逆鞘を示し居れり

關東豐作關西不作の實現

期の推移と仕手の關係にて追々鞘寄せ來りたり本月發會當日大阪の十四圓三十一錢に對し東京の十三圓七十八錢と實に五十三錢の大逆鞘にて其後追々縮少し六十四五錢迄擴大したるが其後相場寄付には大阪の十四圓二十三錢に對し東京の十四圓十六錢と僅々七錢

鞘は迄縮少 僅々七錢

玄人筋の期米觀

相場に對する强弱の見解たるもの[illegible]

最早下餘地 暗示 氣で買 安値を狙 時に思利見

[illegible]

仁川米豆取引所

十四日の六月限

寄付	十一圓十二錢
引	十一圓十五錢
高値	十一圓十四錢
安値	十一圓十二錢
止め	十一圓十三錢
出來	七千九百石

賣買取組高

四月限	一二百石
五月限	二萬三千二百五十石
六月限	二萬五千二百石
出來	比較
十三日後場	前日と比較

北濱だより

南滿新株

[illegible]

東洋製糖株

同社の本季の製糖高は七十八萬俵を算せられて一俵に付四圓五十錢であると言ふから利益は平均四圓五十錢で[illegible]

登錄商標

今や商戰は酣なり！
見よ！横山商會の武器提供

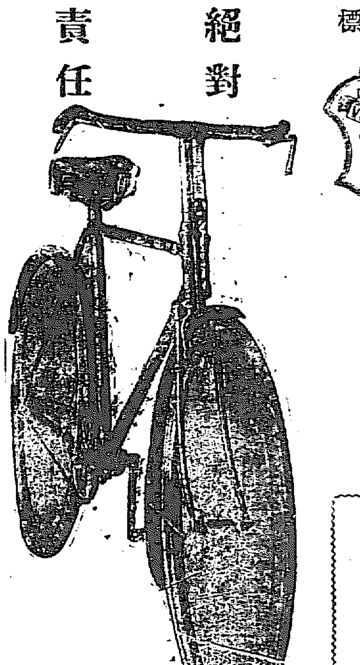
優美高尚なる
舶來コンビン號

登錄商標

廻轉輕快なる
フイニツク號

雄姿堂々たる
ベロース號

絶對責任



登錄商標

堅牢無比なる
舶來クラブ號

米國式實用專用
リーダー號

登錄商標

威風正々たる
アイデル號

急告
新著附屬品各種荷揃に付多少に不拘御注文被下度仰附度奉願上候

謹告
新に特約販賣御希望の方は至急御申込奉願上候

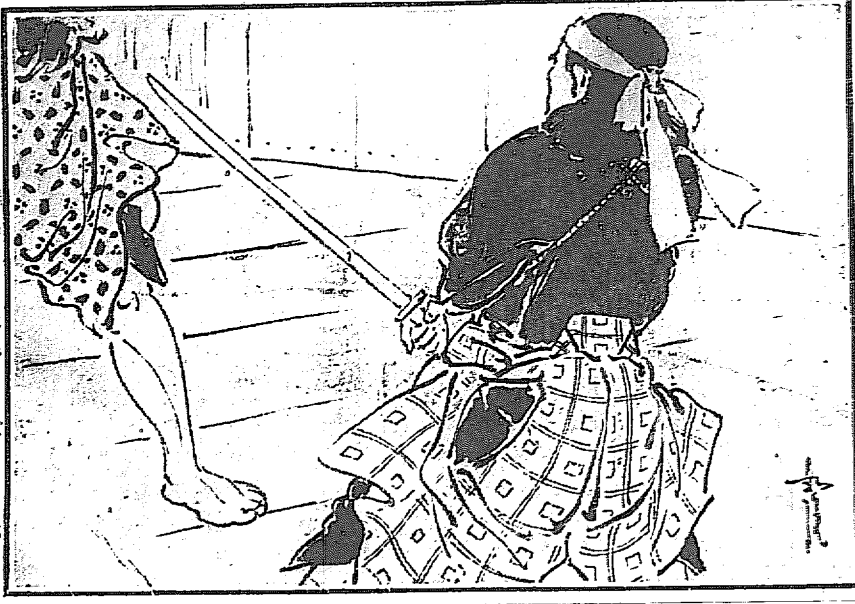
良將も勇卒なくんば如何せん
優商の下に良車あるこそ信用あれ

京城南大門外 横山商會京城支店
長電話一八七五番
振替二三〇四番
本店 神戸磯上通り八丁目

宮本武藏

第八回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記



岸柳から血判をしろと言はれて暫らく考がへて居た武藏　武『少々疑念を生じて血判は致し兼ます　岸『ハヽア御疑念とは何んで　武『御尊名は當の如くに承知いたして居りますが拙者は未だ先生の御手の內を拜見いたした事がございませんから、お手の內を拜見いたして是なれば師匠に取つても恥かしくないといふ見込みを立てまして血判をいたしまする失禮ながらお手の內を拜見願ひ度が如何でございますか　岸『イヤ其は尤もだ手の內を見ない內は血判が出來ないといふのは慥かな言葉で、我々の方でも何に依らず血判をするやうな者では弟子に取つて面白くない、然らば腕前を御覽に入れやうから道場へお出でなさるやう心に叶つたら入門をなさい、意に叶はざれば退散をなさるやう　武『委細承知いたしました誠に先生我儘を申して恐れ入ります　岸『イヤ我儘ではない異存の事である』其から道場へ出て來ると、外の弟子が四十名ばかり其事を聞いて、弟『どうも宮田といふ人は剛い事をいつて來た、腕前が鈍ければ弟子にならんといふ拙者もさういつて來れば宜かつた、今になつちやア仕方がない』と噂をして居る、未だ客分だに依つて宮本は一段高い所に熊の皮の敷皮を敷てあり煙草盆が出て居る所に控へて居る、門人は左右に並んで青山文平、押田佐吉の兩人面小手を附ける、ソコで岸柳支度をして兩人を對手に一本試合をいたしました暫時して『イヤ兩人大きに御苦勞であつた、休息をしなさい』ソコで兩人後に退つて休息をする、岸柳面小手を取らうとする武藏先生　武『先生暫らく　岸『只今御覽の通り拙者の手の內、お好みにならんなれば土産の品を持つてお歸んなさい　武『どういたして、お手の內を拜見いたしますからは、決して他へ入門いたす心得はございません、先生恐れ入りますが御道具のお序に拙者も一本願ひ度ものでで　岸『委細承知いたしたサア序だからお出でなさい』其ゆゑ宮本も仕度をいたし其へ出ましたが像て用意いたしましたる一本の短い木刀を知れないやうに腰に差しツカ〱と前へ出でました岸柳は木刀を取つて正眼に付ける武藏先生短い方を左りに取り長い方を右に持つて陰といふ構へに取つて夫へ出る、傍らに見て居る門人はハテナ兩刀を使ふと思つて居ると岸柳は不思議さうに　岸『先刻一刀流だと仰せあつたが其が何で兩刀をお持ちなすつた　武『去れば親父は一刀流でも拙者は兩刀を工夫いたした　岸『ハテナ夫れでは岸柳を僞られたか　武『如何にも血判いたさん內は弟子でもない師匠でもない、實は小笠原右近將監の家來宮田武介と宮本武藏藤原政名といふ者である、兩刀を發明いたしたのは拙者だ、拙者の勇に當る石川軍刀齋を其方人外の如くに惡口いたし依つて昨日切腹いたして相果てた、夫に就き軍刀齋の妄執を晴らしに參つたのだ』と言はれて驚ろいた流石は劍道の達人岸柳、岸『左樣か、他流試合とあれば宮本手荒いぞ　武『手荒いは固より覺悟の上だ　岸『然らば來い』と血眼になつて一刀を突出す宮本武藏先生小劍を以てカッチと受止め長劍を以て前へ進みました、居並んで居る四十名ばかりの者、何れもどうも剛い人が有ればあるものだ、然ういふ先生が江戸表に居りながら熊本の岸柳の弟子になつて居たは殘念だ、江戸ッ子は江戸ッ子同志だから、何うか武藏先生に勝たせたいと、師匠岸柳が負れば宜いと人情だから皆な固唾を呑んで見て居る、ソコで岸柳が宮本の太刀先を見る所が左りの方の木劍が遊んで居る、左りの木劍さへ打落して仕舞へば一本〱になるから負る氣支へはない、何にしろ今でこそ珍らしくはないが其時は岸柳も兩刀に出合つたのは初めてだに依つて二人對手にするやうな心持ちがいたしましたらう、ソコで一本を打落さうと目を付て居ると武藏の計略で元來左り利きだに依て斯ういふ事を工夫した、シテ見れば左りの方へ打込して置て右の方の木劍で打うといふ計略でございます。

お聞きなさい

▲猫が犬を産んだ　東京芝區新堀北町宮內省官吏小川若三郎方では昨年中から斑の牝猫と斑の牡犬二匹を飼つてゐたが此猫と犬とはいつしか妙な仲の友達となつて先月下旬から牝猫のお腹が膨れ出したので獸醫の診察を受けると正しく姙娠したのであつたドンナ子が産れるか待つてゐると七日俄に産氣づき七匹を産んだがまだお腹に五匹が殘つてそれが産れ切らず牝猫は其儘死んで了つた、所が驚いた事には生れた七匹の內五匹は白黒斑の犬で二匹は同じ斑の猫であつたさうな

四月十六日九星
舊三月十四日　癸未
本命五黄　入方平　佛滅

肺病良劑
金氏煎

本劑は從來の『クレヲソート』系統に屬する外に獨特の……

日本製藥研究所
東京市下谷區上根岸町

家傳靈藥
ぢの藥
痔疾一切　脫肛　痔瘻
大東京重定之妙藥有　家傳の書で申込あれば東京京橋區小松室林堂
御求の際は小松の藥と指命乞ふ

今治水
の驚くべき奏效
島村醫學博士有效御證明の『いまなをるはぐすり』
今治水は齒痛一切に非凡なる特效あり!!
（主效）■むし齒の痛■神經より發る齒痛
■齒の根の痛■肩の凝より發る齒痛
■はじしの痛■逆上より發る齒痛
價　十錢、廿錢、消毒綿及ピンセット付
本舖　大阪心齋橋　東京備前町　丹平商會藥房
全國到る處の藥店に取次販賣す

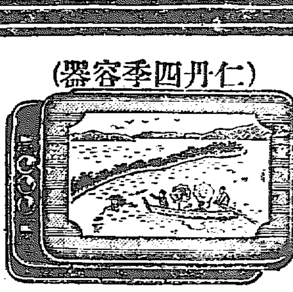
遊山に仁丹
仁丹召上れ物事皆愉快!

煙草代りに仁丹
佳味芳香全くイヽ!

散歩に仁丹
疲勞せず氣分爽快!

旅行に仁丹
船車に暈はず頗る安心!

（仁丹四季容器）



▲優美重寶!
▲携帶至便!
最寄の藥店でお求め遊ばせ!
仁丹五十錢包に無代添附す

信仰はあらゆる知識の極度なり其端緒にはあらざる也（ゲーテ）

京城日報
第三千[illegible]號
下關期米特電
四月限　二百石
五月限　一萬三百石
六月限　三萬九千七百五十石
十五日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

朝鮮統治の綱領(三)

京城日報

新政第二年度に於ける、施政の綱領は總督府開設の劈頭に於ける方針に遵び、諸般の創始的施設漸次其歩を進め、半島の經營其緒に就かむとするの時期、即ち新政施行後一年間を以て、最も重大の意義に於ける試驗的時期とすれば、第二年は即ち政策が漸く其効果を發現し來るの時期にして、此時期に於ける當局の施政方針に依て、朝鮮開發の事業が着々歩を進めんとするを知るべく、今日朝鮮の政治上經濟上社會上亟くの如き進歩發達を見るに至れるの源泉は、遡りて當時の政策に覓むるを得む。

當時の方針について、之を總括的に見る時は、當局者が如何に朝鮮の事物を、最も健實に進歩せしめんと期圖したるかを知る。即ち産業政策の如き、努めて時勢の進運に順ひ、人民の生活狀態に應じて、基礎的産業を先にし、之が助長の方法に向つて專ら精力を傾注したり。此の故に朝鮮の産業は農業を以て大本とし、農産の増殖改良に就ては、當初の方針を更に擴張して、餘力ある農民をして徒らに遊惰放逸ならしめざる道徳的意味のみならず、地方經濟の健全なる發達を企圖する趣意より從來顧る朝鮮に缺如したる農家の副業を奬勵せり。又主要富源の一たる漁業の如き、其保護奬勵に於て、從來相當の措置を執りしも、未だ足れりとせず、更に法令規則を制定して其の發達を助長せり。而して當初に於ける産業政策は、主義として普遍的性質のものを先にし、富源として有利なるものも、其の性質普遍的ならず、且つ特殊の方法技術資力等を要するものは之が開發を後にせり。

朝鮮に於て古來最も盛に行はれたる農業の如きすら、之れが改良を要するもの實に多大、彼の森林の如きに至ては殆んど失望的狀態に在り、産業の助長機關として最も必要なる交通機關の如き、鐵道に於ても、道路に於ても、港灣設備に於ても、未だ幼稚の域に在り、其他百般の事項殆んど創始的施設を要せざるものなく、此等の計畫は既に今日より五年以前に確立せられ、源泉は枝流を分派して、今日朝鮮統治の綱領は、組織的に具體的に、其大綱に於て既に

咸北の三都會 (十)
北方の咽喉

東拓理事　村田俊彦　(36)

城津より更に北して漁大津の港あり此邊沼澤多く水田となすべき、望ありと云ふ。漁大津より更に北して清津あり。清津は其の位置に於て重要の所たり。北に會寧間島等を控へ西に鏡南鏡城等を擁し、元山との距離二百七海里にして、略神戸柳井津間のものに等し。露領浦潮港は元山より遙に近くして、僅に百二十五海里に過ぎず。對馬海峽の隔りに二海里を増すのみ。敦賀航路は四百八十二海里を算し、下關仁川間のものより十海里少く、長崎上海間のものより十九海里遠し。俗に元山清津敦賀間の航路を三角航路と稱す。蓋し三角形を爲すを以てなり。○清津は吉會鐵道開通の曉に於ては、北滿洲咽喉の地となり、滿鮮に於ける屈指の港となるべき運命を有す。然れども港灣は元山に及ばず、風浪に勝へず、漸次相當の設備を要すべし。府の戸數千四百戸強、人口六千四百人弱あり。内八百戸弱三千人弱は内地人なり。街衢半島の顛に當り丘岡を負ふ其前面は埋立地なり。○圖們の目覺しき所に露國領事館の嶄然として聳立するを見る。他日滿鮮の要港と爲れる時は、其市街は西南方の平野に向て擴張せられざるべからざるべし。市況甚だ活氣あり。一には清會鐵道建造中に在るが爲めなるべしと雖も亦其の要地たるに因らずんばあらず。○街衢の背後を拔き路を越え、他面の海岸に達す。此邊未だ漁村なりと雖も漸次市街を延長せらるゝ傾向ありと云ふ。又今茲に漁港を築造せられつつあり。半島の小丘高秣山は即ち公園地にして、太神宮を安置す。日本海を一眸の下に收め頂上の眺望雄壯なり。○清津は隆熙二年即ち明治四十一年開港場とせられたるものなるが翌四十二年五月間島及び琿春地方に輸出入せらるゝ貨物に對し、關税を免除すべき法律發布せられ、同年十二月其施行細則公布せられ、翌々四十三年一月一日より之が實施を見るに至れり。假令一旦陸揚せらるゝも他國間に輸出入せらるゝ貨物に對し其關税を免除することは、貨物を招致し港を榮えしむる策にして、中世より頻りに用ゐらるゝ方法にして其實例少なからず。此の如き港を稱して自由港と呼ぶ。清津を以て自由港と爲せしは策其當を得たるものにして、清津は實に自由港に最適の地たるなり。○自由港の制は清津如き地にありて初めて其本能を發揮す。○外國の貨物が海によりて入り、更に海によりて外國に出る場所即ち所謂國際足留り場にありては、保税倉庫の制を以て足るべく、又之を以て適當と爲すべく、自由港の制を布く要は是あらざるなり。是れ外國にありても保税倉庫の制は一般に行はるゝも、自由港の制は寧ろ特別の場合にのみ用ゐらるゝ所以なるなり。○清津の自由港となりし當年即ち明治四十三年の春三月、浦鹽港は却て從來の自由港の制度を廢止し、驟て從な貨物を清津に逆り、我朝鮮を榮えしむる原由を作れり。○清津の輸移出入品總價額は明治四十三年度に六十四萬圓弱なりしが、漸次上りて大正三年度には百五十萬圓弱となれり。此外に此地を通過せる無税の輸移出入品少なからざるものあり。其價額明治四十三年度に於て五十四萬圓強、大正二年度に於て九十三萬圓餘ありき。大正三年度は間島の内作に因り七十五萬圓弱に減せり。此に由りて之を觀れば、清津の荷動きの四割左右は自由港たるによりて生ずるものなりとも云ふべきなり。(續く)

なんでも錄

在東京　忍　斉生

○東京の花時は、例年よりも約一週間遲れて、昨土曜日より天氣漸く晴れ渡り、初めて『千里鶯啼て綠紅に映ず』の好時節と相成候。

○去年は春暖にして各所の櫻花が早く咲き上野の櫻よりも四五日間遲れて咲き初むる夢香島の櫻さへ今年は滿開にて候へども、本年は極めて淋しく、昨日まで上野に人出の多きは櫻見る人よりは、寧ろ好天氣に連れて目下開催中なる海の博覽會見物に行きたるものに候。

○世人は東京の櫻とさへ云へば先づ指を上野、向島に屈し候へども、小生の最も好愛する櫻は三宅坂より赤坂見附を見通したる邊に候。

○三宅坂より赤坂見附上までは僅か三町程に過ぎざれども、道路の兩側に補植ある櫻花滿開となる時は、宛然櫻花の天然的大トンネルと相成り小生の如き其の木蔭を逍遙[illegible]云ふにいはれぬ美的觀念に打たれ候。

○本日は英人スミス氏の宙返へり飛行機の妙技青山原に行はれ、櫻見る人は花より早きゆゑに皆此の原頭に聚集し其の數二十萬と註され候。實にさしも廣き青山原も人の山を以て築き申候。恐らくは空前の人出かと存候。

◉小生は昨年東宮、夢香島の櫻花を[illegible]く泥に愛して東京を發し朝鮮に行き京城にて無佛庵居士と總督府の櫻花爛漫たるを賞したる際居士が『昔は門前柳翳烟、櫻裏搖曳[illegible]』の絶を口占せられしが、昨今は實地に色衛は後く總督府門館の櫻も稀に綻びを帶びたる候のことと存候。(早々不一)

戰前及戰後の歐洲 三

法學博士　吉野作造氏講演

▽天主教の勢力　ビスマークの對天主教徒彈壓策は二十年の長きに及び、苦心に苦心を重ねたが、結はさうしても聽かない。議會では中央黨を組織し盛んに政府反對の氣勢を振廻した。獨逸の議會は元來小黨分立であるが、中央黨は其内での最大政黨で、遂に流石のビスマークも此中央黨に敗北するの止むなきに至つた。ビスマークの中央黨に敗北したと云ふのは國家の重大問題たる軍備擴張案を通過させる必要上宗教問題に屈したのである。

獨逸現帝は現代に於ける世界的最大の偉人であるが、彼さへも三五年前法王には敗北した事がある。四年前の千九百十三年伊太利は建國五十年祭を行つた。統一以前の伊太利は六國と一法王領とから成立つてゐたが其統一に就き最後に亡ぼされたのは法王領であつた。法王はバチカン宮殿に自ら『幽閉されたり』と稱して閉お籠り、足一歩も宮殿から出なかつた。一昨年の八月に死んだピイアス十世など、殊に伊國政府に對する敵愾心を抱いてゐた、隨て伊國政府に取つてバチカン宮は宛然一敵國の觀を爲した。其法王が伊太利建國五十年祭に際して反對し、各國に於ける教徒に『來る三月十二日は法王領滅亡五十年忌に相當するに就き苟も天主教徒たる者は當日左腕に黒色の喪章を附し謹慎の意を表すべし』と云ふ意味の通達を發した。三月十二日は伊太利建國五十年祭典執行の當日である。是の如き法王の態度が一國の元首にも迄及んで來たのである。獨逸は

▽獨帝、法王に屈す　獨墺伊三國同盟の關係から皇帝親ら其祝典に列席しようとしたが、其れを聽込んだ法王は『何れの國の元首たるを問はず此の祝典に列席するに於いては、法王に對して大侮辱を與へたものと認める』と云ふ意味の通知を各國に發した。○聞いた獨帝の伊國訪問は與參列に對しては、中央黨は承知しない。八十何名と云ふ最大黨員全部が團結して『獨帝が強ひて祝典に列すると云ふなら我黨は軍備擴張案に反對する』と來た。軍備擴張案は獨逸の大問題である。其れを犧牲にして迄獨帝は伊太利の歡心を買ふにも及ばぬが、然し何とか成るものならばと、當時法王廳駐劄獨逸公使ドクター、ミユールベルヒを通じて法王廳外務大臣に賴み、法王の命令撤回を切願させた。ドクター、ミユールベルヒは今度の戰爭開始後繼められた前外相の次に外相に擬せられた程の人物で、現外相フオン、ヤーゴー以上の人物だと評せられてゐる人である。其れ程に重大な人物を法王廳に派遣してゐるのである。其懇願に對して法王は頑として聽き容れない。此の爲めに國内は當に獨逸のみならず、伊太利迄も沸騰した。聞く伊太利では『獨逸は同盟國よりも一法王を重んじ爲か、然らば伊太利は寧ろ三國同盟を脱退すべし』と迄騒ぎ出した。結局獨帝は慣用手段を弄し、病と稱して皇太子を代理に派して祝典に列せしめた。即ち獨帝は實際に法王に屈した次第である。祝典當日なる三月十二日獨逸議會は國民を代表して祝電を打つ順序に成つてゐたが、當日中央黨員の殆んど全部が缺席し、何かの都合で出席してゐた七人の黨員も、議長が其提言するや直に退席してしまつた。―其程の中央黨であるから議會では每年一度宛は問題を惹すのが殆ど例となつてゐる。そして今日も尚續いて居る。

▽社會黨と政治　尚一つ獨逸政府の厄介者は社會民主黨である。一體世界に於ける社會黨は獨逸が本場である。此社會黨は古い歷史を持ち昔は色々な議論もあつたものだ。又國によつて特色がある。英の社會黨は勞働者が結束して同盟罷業をするのを特色とし、佛の社會黨は天賦人權の根本論から出發して生存權を主張し、其れが勞働權に代り、人は總て勞働の權利を有す若し失業の人民あらば政府は之れに職を與へざるべからずとの論旨から、千八百七十八年には[illegible]。即ち失業者は孰れも一日八十錢の賃銀を給せんと云ふ公告を出したので、何萬と云ふ浮浪の徒が集り別に何と云つて仕事も無いものだから止むなく其れを東京で云へば日比谷公園見たいな處に連れて行つて、平地に土手を造らせ、又其れを平地に復舊させ、斯くて一日の勞働を終つたが、連中は歸途直に酒場に行つて勞働賃金を數杯の酒に換へ、醉ふては喧嘩をして天下の政治を論ずる、危險で仕方が無い。是れではいけないと其政策も二三箇月でやめられてしまつた。七百何十萬圓の經驗であつた佛蘭西の社會黨は、[illegible]暴動を起して[illegible]起してはやみしてゐる。獨逸では初めて政治的に實行した。勞働者は多數である、多數の選擧した議員も勢ひ多數を占めるに違ひ無い、議員が多數を占めれば勞働者に都合のいい法律も作る事が出來ると云ふので、初めて政黨としての社會黨が出來た。其獨逸の社會黨にも過激派と溫和派の區別がある。

第二朝鮮短歌會(四)

同

(八點)死せるごと打ち默したる監獄の春の夕ぞうら悲しけれ(戸田くにを)

(七點)草青み春を彌生となりにけり別れし人をおもひ寢にして([illegible])

高い高い伊太利柳二三本、道のむかふに見えて雨ふる([illegible])

『士族の子は士族の如とかれ……』と涙ぐみつゝ言ひし母はも([illegible])

病める日はもの皆かなしかなしさの中に目覺めて默然と寢る([illegible])

女てふ床しかる名をもちながらわが魂はしも何おのゝける([illegible])

いと醜きわが足跡の一歩一歩絶えなんとしてはまた續きたる(角田房司)

なんとしてはまた續きたる妻の日記何時か見やうと思ひつゝ忘れ過せば今日も書き居り(石井龍史)

いづくまでもこの悲しみを追ひ行かで苦笑ひしてかへりし心([illegible])

(六點)可笑しきは我に逆らひ春の日を窓に終日針もつ心([illegible])

赤きもの賑ふと言へる童貞に投げて與へしその花の色([illegible])

シンとせる森の深みにきつつきは只コツ〳〵と木をつつき居り(野村秋花)

小犬らが小さき鳥の骨一つ喰はんがためにかみ合ひにけり(同)

夕がらす旅の男は街上にひとり靜かに歩むなりけり([illegible])

法人登記公告

私立養正義塾理事小杉彦治ハ大正五年四月七日其ノ住所ヲ京城府桂洞百八番地ニ移轉シタリ

私立進明女學校理事大塚浩ハ大正五年四月拾日辭任シ同日京城府初音町百貳番地成田忠良理事ニ當選就任シタリ

加平地方金融組合ハ出資口數ヲ參百七拾壹口ニ出資總額ヲ金七百貳拾八圓拂込ミタル出資ノ總額ヲ金百七拾九圓七拾七錢ト變更シタリ但シ大正四年度末日ノ現在ニ依ル

右大正五年四月拾壹日登記

京城地方法院

土地入札貸下

京義道南陽面延禧面所在土地(一萬坪)參萬五千八百拾八坪九合參勺

右貸付ス委細ハ四月十五日以降ノ總督府官報ヲ看ルヘシ

大正五年四月十四日

朝鮮總督府

工務傳習生募集

右約二十名募集ス志望者ハ[illegible]

朝鮮總督府遞信局

新刊書御案內

中山大納言
世界的野心家カイゼルの裏面
死後は如何
紀行文集旅かゞみ
故鄉他
十人十色名物男
農閑出稼目草
撰註白樂天詩集
和歌の作りやう
禪と膽力
博牛全集想華及小品
東京市內先儒墓田錄
の元
立身姓名と人の運
農村生活二十年
國語寶鑑
佛教心理の研究
英文和譯の秘訣
民政史
衛生法規類集　全
醫家字典
貸付名簿と最後の手段
何人も出來る化學工藝製造法三百種

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二九七三番

鐵道債券募集廣告

本年大藏省令第六號ヲ以テ鐵道債券募集相成候ニ付應募御望ノ向ハ左ノ各項御承知ノ上當店ヘ御申込相成度候

一、募集金額　四千萬圓
二、利率　年五分
三、利子仕拂期日　每年三月十五日及九月十五日
四、償還年限　大正二十年三月十五日迄ニ償還
五、應募價格　額面金百圓ニ付最低金九十五圓
　但十錢位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ス
六、應募保證金　申込高百圓ニ付金五圓ノ割合ヲ以テ申込ノ際拂込ノコト
七、拂込期日及其金額左ノ通リ
　但最低價格以上ノ差金ハ第一期拂込金ト共ニ拂込ノコト
　第一期　大正五年五月一日　募入高百圓ニ付金五圓(保證金振換)
　第二期　同年五月十七日　同　金五十圓
　第三期　同年六月十五日　同　金四十圓
八、拂込延滯日步　金百圓ニ付一日金四錢
九、初期利子　大正五年四月二十一日ヨリ同月廿五日迄
十、應募申込期間　大正五年四月二十一日ヨリ同月廿五日迄
　但期日前ト雖モ便宜申込ヲ受クヘシ
十一、募入方法　應募價格ノ高キモノヨリ順次募入ス

大正五年四月

日本銀行京城代理店

全部完成

六文學士校訂

絶對的非賣品

西鶴全集

第一輯(禁止)■第二輯(禁止)■第三輯(頗珍本)■第四輯(禁止)■第五輯(特別配本)■第六輯(配本中)

每册約五百頁・木版插繪十餘枚・總布製箱入頗美本・五號組
外には絶對に配本せず又會員は限り若干名缺員あり
入會希望者至急申込次第內容見本送呈
申込所　東京府田端　江戸時代特殊文學研究會
京城本町一　大阪屋號　電話二五七三番

巖谷小波先生監修

最も評判高き繪雜誌の王

幼年畫報

綺麗な　面白い　五月號

幼年世界

尋常小學生の理想的讀物

定價各十二錢　東京本町　博文館

材木商　京城府岡崎町　須川商店　電話(龍)四三四番

欅、樺、朴、桂、杉、李、松、柾、鴨綠江材、各種

大阪屋號書店

スワン萬年ペン

宮內省御用品本品の眞價は既に社會に定評あり往々の名稱を附したる類似品多し本品の軸部には(SWAN)の英字刻印押捺せり
到る所の文具店に目下競爭販賣中眞ふ人の爲な時最寄販賣店に御用命を乞目錄無代進呈
大阪平野町二丁目スワン萬年ペン發賣所

堀井インキの特色也

品質の醇美と色調の彩麗と永久に亘りて絶對に不變色なることは

HORII'S INK

發賣元　京城南大門通り二丁目　監寫堂　京城出張所　文房具部　電話四〇二番

英國對支態度と帝國
英本國の態度は依然帝國と同一態度

今回の南支動亂勃發以來國内に於ける袁總統の威信は日に失墜しつゝあるに不拘在支英國官民は尚ほ支那の統一は袁總統に任らざれば不可なりとの意見を改めず袁總統の爲直接間接に種々の便宜を計れり最近の鹽税剩餘金引渡しの如き其の顯著なる一例にて爲に我官民より誤解せらるゝ處多かりしが斯の如きは英本國政府の意見に非ず本國政府は依然支那問題に關し帝國と同一態度を取るの方針なれば最近ジョルダン氏に宛て此の事に關し訓令する處ありたる由にてジョルダン氏は之れが爲十二日來日置公使を訪ひ今後の方針に就き意志の疏通を計りたりとの事なり英國が斯く其の態度を明白にせるは今後の我對支外交に重大なる影響を與ふるをこなるべく極めて注目すべきことゝ云ふべし（東京特電）

南方動亂と日英利害
駐支日英兩公使の會談要領

十三日駐支英國公使ジョルダン氏は日置公使を訪ひ談數刻に及べり會談の要領は今や南方獨立し浙江又之に參加し上海の形勢旦夕に迫り長江一帶動搖せんとす袁總統も早や退職の止むなきを看破せしが如しされど袁總統愈々退職せば秩序亂れ外人の生命財産は危害を受くるに至るべし最大の利害を有する日英兩國は今にして適宜の方法を講じ置く必要あるべしと云ふにあり（東京特電）

一箇月休戰の協定
北軍瀘州拋棄＝南軍沅州奪還

上海來電に依れば信據すべき報道に曰く北軍は瀘州を拋棄し南軍は湖南省沅州を奪還し湖南の兩軍は一箇月の休戰を協定せり（北京特電）

上海獨立と孫陳
孫逸仙派なる陳

上海獨立は孫逸仙派なる陳其美の起りたるものにして孫より二十萬金を陳に送り江蘇浙江軍揚子江艦隊を買收せしめたるに依ると（東京電報）

江西公式宣言

上海來電に依れば江西省巡按使は公式に獨立を宣言せり（北京特電）

佛の大攻撃參加豫備

佛軍司令部の意見に依れば佛軍はヴェルダンを維持し加へて指定の時日に於て聯合軍側の大攻勢に參加すべく充分なる豫備を有すと（倫敦電報）

獨軍の卑劣行動失敗
佛軍デッドマンヒルを維持す

巴里來電半官的報道に據れば獨軍は燃燒液體其の他のものを使用して最も卑劣なる方法を講じたるに拘はらず佛軍の兩翼に對して行ひたる襲撃は失敗に歸せり獨の聯續的砲撃は獨が再びデッドマンヒル（死人山）を攻撃せんとする前兆なるべし同所に於て獨軍は十一日僅かに塹壕第一線の數百米突を占領せるに過ぎず獨軍が此の戰闘に關して何等の報告を爲さゞるは獨が以前既に同處を占領せし旨を發表せるが爲めにして而も佛軍は今尚同處を維持しつゝあり（倫敦電報）

葡軍のク占領說

葡萄軍はクロカンカを占領せりとの報あり（倫敦電報）

定例閣議開會

十四日首相官邸に於て定例閣議開會其内容は聯合經濟同盟會議職員制度を決定し十五日の官報にて公布の件大正六年度豫算概算書提出期及び商業會議所規定改正の件なり（東京特電）

經濟會議
列席委員決定

巴里に於て開催の經濟會議列席の委員は左の如く決定十五日を以て任命發表さるべし（東京特電）

委員　男爵　阪谷芳郎
　　農商務書記官　鶴見左吉雄
補佐委員　大藏省技師　矢部規矩治
同　上　英外駐剳財務官　森賢吾
同　上　在佛國大使館參事官　田付七太
同　上　同大使館二等書記　杉村陽太郎

陸軍特命檢閲使

十四日陸軍特命檢閲使左の如く被仰付たり（東京特電）

第一特命檢閲使被仰付　元帥陸軍大將子爵　長谷川好道
第二特命檢閲使被仰付　陸軍大將　載仁親王
第三特命檢閲使被仰付　陸軍大將男爵　淺田信興

法官部長更迭

十四日左の如く陸軍法官部長の更迭ありたり（東京特電）

第七師團法官部長理事　小林砂吉
　旭川衞戍監獄長　補第十八師團法官部長兼補久留米衞戍監獄長
第十八師團法官部長　河内貞藏
　久留米衞戍監獄長　補第七師團法官部長
第三師團法官部長　廣田平五郎
　補第一師團法官部員

田村氏當選　公示

栃木縣選出代議士阿由葉鍋三郎氏死亡に付き次點者田村順之助氏補欠當選の旨を十四日公示されたり（東京特電）

平井顧問釜山發

支那鐵道顧問平井博士は對馬丸にて著釜午後十一時發列車にて北行せり（釜山特電）

隣邦時局の觀察（十三）
布施知足

時局の進展は最近殊に激しくばたばたと捗が行くやうに觀えるが吾々から觀ると其遣方が寧ろ愈常套に陥して隨つて不滿足に思はれる點も餘多くなつてきたやうである、引括めて謂ふと官革兩方とも之からの戰は裸で實力を鬪はすのでは無くて味方の人數を見せびらかして其威勢で勝負を極めようとするのである、言換へれば双方共に保證人の數をなるべく澤山列べてその顏振で勝敗を決めようとする遣方である、廣西廣東に次いで湖南が獨立を宣言しようとし福建また形勢が危ふくなつてきたと云ふが、思ふに此獨立宣言が各省に飛火するのは餘り遠い間ではあるまい、安徽山東それに滿洲でも火がつかぬとも限らないが、此樣に無暗に擾々々々と云つて所謂獨立の內情など構はずどれでも自分の味方として吹聽して仕舞ふのは、丁度袁氏が英國米國其他何處の邦でも構はず自分に好意のあるやうに吹聽したり、段祺瑞徐世昌二氏を强て起して自分の側に立たせたり、各省の將軍に打電して自分の信任を問ふたりするのと主意は少しも異らない、各省將軍中で袁氏が最も賴んで股肱とするのは四川の陳宧安徽の倪嗣仲湖北の王占元それに奉天の段芝貴だと云ふ記事が近頃の支那新聞に見えてゐるが之も矢張り將軍中の秀抜な者を選んで自分の保證人の顏振へ賑やかにしようと云ふ策と見られないでも無い、此樣な風に顏振の戰爭となつて來ると革命黨の方は却て分が惡くなると云ふ缺點がある。袁氏を廻る諸名士と革命黨の首領株と相對して列べてみたら裸にした人物の眞價は兎に角其裸を飾る衣服即ち閲歷とか名望とかつまり俗眼に映ずる價値では革命軍寧ろ遙に遜色がある、殊にそれが郷里の父老に與へる印象に於いて今の處袁氏がまだ優勢であるとは否まれない、爲政家が此父老の間に有する勢力とそれが外來の勢力に對抗するに當つての價値如何と云ふ事は之からの支那問題を解釋するに際し見脫してはならない題目だが此觀察は姑く措く、兎に角革命黨は一は袁氏の勢望と對抗する上から一は味方の勢力爭ひを抑制する上から是非とも閲歷力量一段と自分達に擢んでた人物を看附け出して之を自分達の首領として表面に押立てる必要に迫つてゐる處が見渡した所殘念ながら革命黨の首領株と云ふのは多くは年の若い浪人共で閲歷力量袁氏の正面に廻る者は到底見附け出されない、之に困つた革命黨は目下のやうな段取りになると屹度岑春煊氏を擔出す、岑氏の名が新聞に出てくるのは毎時今のやうな時で勢望力量で對手の首領に對抗する必要がある際である、吾々は又之に不滿を感ぜざるを得ない、正直に謂へば岑氏の勢望は前淸時代舊官場に博した閲歷の名殘であつて氏が革命黨と總を結んでゐるのは思想の上から革命共和に共鳴する所があるからでは無く主として袁氏の政敵であるの關係上排袁主義の上から身を革命黨に寄せてゐるのに過ぎないやうに思はれる、南方各省の連絡が取れて革命軍が愈々獨立政府を廣東に置く日になると政府の首領には岑氏を押すと云ふ話だが、こんな有樣では今度の革命も矢張り過渡時代の革命で排袁が成効したとてどれだけ支那の國政の上に進歩があるか甚だ覺束ない感じがする。

內地米商の鮮米觀

大阪の米商にて多年朝鮮米の取扱をなせる伊達與助氏此程來京其談に曰く

▲阪神市場と鮮米　阪神市場に朝鮮米の初めて入荷せしは遠く明治十八年の事に屬するも其の猶微々として夥しき移入を見市場に於ける鮮米の存在と其の眞價を認められしは最近鮮米移入稅撤廢後なりと云ひ得べし殊に其の調製の改良と共に事實上米質の優良なるを示し來れるは實に昨年鮮內移出米檢査實施後と云ふを適當とすべし然も廿年來米商として朝鮮米の賣買に從事し來れる予の觀る所を以てすれば未だ朝鮮米は乾燥の不良及び夾雜物の混入てふ二點に於て其の米穀調製者の反省を乞ひ他方更に大阪の米商人としては中部及び南鮮方面に於て頻りに普及されし居る早神力種が米粒細小に失し外見極めて不良なりとの注意を當局及び耕作者に呈したし尤も東拓の如きは或は格付米の途致或は率先して米穀調製を斷行せしにより一般鮮米に比し石に付三十錢乃至四十錢の上値を示せるものあれど大體に於て內地人農場の産米を除けば乾燥不充分にして搗き減り多く混入物少なからざる爲め品質不良の觀あり之が匡正は農民の反省に待つ外なからんが質に於て必らずしも內地米に劣らざる鮮米は此點に注意して其の品位の向上を計るの要あらん又米粒の小なる早神力は京濱方面の需要には或は適せんも鮮米の大市場たる阪神方面にては穀良都の如き玉錦の如き或は亦日の出の如き在來種の如き米粒の大なるものを歡迎し居れり

▲移出米の優劣　鮮內各港移出米の優劣を觀れば馬山米釜山米を最とし木浦米は稍々落ち群山米は量に於て最も多きも米質に著しく上下あり仁川米も亦馬山釜山に及ばず鎭南浦米は最も調製上の缺點あるが如し目下大阪にては東拓米と云へば商標を見たる丈けにて其の品質の優良なるを承認され居るが實際鮮米の眞價の內地に高まるに至りしには東拓の努力與つて大なりと云ひ得べし

道長官歷訪
咸北の浦曲を春の獨り旅
桑原咸北道長官談

桑原長官には前後八回の訪問をして遣へず遂に十四日出發間際の五分間を巴城館の二階で立談同樣の面會をし

▲歸路は陸路海岸線を行脚するつもりなれば鏡城に著くは本月の末頃となると思ふ途上端書便など書いてお送りしようと思つて居ります、

▲先づ江原道の洗浦に立寄つて先年私の管轄の道から遷つた綿羊の成績を視察した上、天山から城津に海路直行して城津から陸行する豫定

▲城津は御承知の通り黑鉛鑛の出る所で從來廢坑同樣であつたものが、戰亂と共に復活して毎月二十萬圓內外の産出を見る樣になつて來た、城津の機業も近來非常に發達して鮮人に相當副業的な生産力を與へて居る

▲淸會線は咸北の運命を左右する程の威力を持つて居るが、今年の十月迄には一部營業の開始をしたいと云つて居る、七八月頃の水害の程度を見て輸城川の鐵橋を架け其からでなければ營業は開始せぬらしい

▲水害後の復舊も漸を追て竣成し、鮮人勞働者も鐵道工事や兵營工事等の發掘等に依つて勞銀を得る樣になり人氣が非常によくなつて來たのは喜ばしいことゝ思ふ、淸津は例の如く日進月步の有樣だ。

運賃値上と鮮米

大阪商船及び尼ケ崎汽船の兩社は此程來協商の上內鮮間主要貨物運賃を約二割強値上したるが其の米に及ぼす影響を聞くに現に群山大阪間の運賃は石五十五錢見當なれば二割の値上げにより十一錢乃至十二錢を加ふるに過ぎず之れを大體より見て鮮米移出には甚しき影響は非ざるべしと

蔘苗檢査終了　度支部開城

出張所管內特別耕作組合に於ける本年の蔘苗檢査は五日より執行十五日終了の筈なりしも今年は除寒酷しかりし爲め一日より開始の筈なりしも豫定變更の止むなきに至りたるものにて前年に比すれば數日の遲延を見たり、目下耕作組合內にては移植の最盛期にて遠からず移植檢査を開始す可しと

東拓の決算　東洋拓殖會社

の大正四年度決算は三月三十一日を以て終了し會社は目下決算を急ぎつゝあるが地方十出張所の決算も八出張所分十三日迄に出揃ひ殘餘の二出張所分も近く到達の筈に付遲くも本月末迄には株主總會附議案出來すべし

西大門局新營　京城西大門

郵便局は位置不便にして狹隘なるより遞信局にては今回西大門通りに適當の敷地を選み新營する事となりしが約八千圓を建築に費し來る十月頃迄に竣工の豫定なりと

人事消息

▲細三義氏（京城地方法院判事）民事事件實地檢證の爲め十五日京畿道抱川郡へ出張
▲李軫鎬氏（全北道長官）十五日出發一應大邱に赴き引き返して全州へ赴任の筈
▲高井吉氏（九州大學教授工學博士）十四日夜平壤より入京天眞樓へ
▲梅野實氏（鑛業家）同上
▲河東銓氏（同上）同上
▲岩尾啓助氏（香椎合資社長）十四日夜入京南尾旅館へ
▲中井錦太郎氏（滿洲製粉會社取締役）同上
▲中田孝之介氏（木浦商業會議所書記長）同上
▲宇井幸三氏（鑛業家）十四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲橋本良造氏（同）同上
▲ムーム氏（米國商人）同上
▲ホーン氏（米國海軍少佐夫妻）同上
▲プープ氏（英國商人）同上

南言北語

ポカ〳〵暖かいせいでもあるまいが南支那の獨立宣言はまるで雨後の筍見たいな湖南の湯薌銘も貴州軍が沅江を占領し廣西軍が邵陽迄來れば獨立を宣言すると云ふ▲湖北の王占元も四圍の事情から之れを頑張る事が出來ず▲江西の李純も獨立を宣言した▲浙江の獨立宣言は上海方面に取つては意外の珍事だ之れでは上海が危ない▲上海は陳其美の根據地で先生其處等に居る筈だ▲馮國璋も何だか可笑い素振が馮を大總統候補の一人に數へて居るのも底に蓋ありかね▲血の雨が惡い東蒙古の奥の方までも何んだか物騷になつて來たと云ふ▲一方四川では陳宧の平和主義と曹錕の武力主義が喧嘩を始めた▲張勳は叙州で睨んで居る▲烏渡地圖を展げて點をつけて居たら南の方は眞つ赤になつたイヤ何うも之れは〳〵だと云つて居たら▲直隷將軍朱家寳に獨立宣言を勸めるやかましい厨物が遙々遠方から言子の手許に飛び込んで來た▲危險々々觸らぬ神に祟りなしだ言子の知つた事ぢやない▲之れ迄も支那に來て居る英人中には何うも氣に喰はぬ連中が多かつた▲同盟國人としての態度が氣に入らなかつた▲だから日英同盟に對しても種々の評論が飛び出した譯サ▲彼等のする事はまさか本國政府の意志ではなからうとは思つて居たが其れでも政府が知らぬ顏をして居るのだから腹も立つた▲處が今度本國政府からの訓令で對支外交は日英は同步調だと云つて來た相な▲其處で其等の英人も覺つたものと見えるが覺つたなら其れで好い以來は人を踏み付けた樣な事はせぬが好い▲何と云つても兄弟分ぢやないか▲支那人でも兄弟牆に鬩ぐは外侮を受けるなんて頻に云つて居る▲兄弟が反目しては支那に對しても面目ないではないか▲エイかねわかつたかね

次回の京城論壇
朝鮮に於ける化學工業の將來
農學博士　豊永眞里

鑛業出願（前承）

[illegible]

聞かれよ世界の大動亂をフジヤの大奮闘を

歐洲の大戰起るや貿易市場は大混亂を來し殊に我毛織物界の如きは商品の底拂なし且つ戰局終了豫期し難く爲めに價格暴騰停止する處なき有樣に至れり然るに弊店は此際常に多大なる御愛顧を蒙る顧客に對し其御需めに應ずる爲め優秀なる技工に最良の材料を以て調製なしたる品を此時期を顧みず最低廉なる價格を以て提供せんとす

見られよ!!　先づ今回發行の詳細なる定價表に就て

定價表御入用の方は御申越次第送呈す

各官廳制服及洋服　帽子劍其他附屬品

フジヤ商店

金牌受領　ポケット入　氷砂糖　定價　大 拾錢　小 五錢

製造元　大阪市住吉橋北詰（電西二〇〇四番）　三木治助商店

特約一手販賣　大阪淡路町一丁目　小林三玉堂

大邱　販賣店　甚川商店

SUGAR CANDY

●名古屋城建物賣却廣告

旭町二丁目日本メソヂスト京城教會所屬建物賣却ニ付キ四月十八日十九日午後二時同所ニ於テ入札執行希望者ハ十八、十九ノ兩日現場熟覽ヲ乞フ

四月十五日より　五月人形陳列會

可愛らしき金太郎桃太郎を始め鯉幟座敷幟其他種々取揃申候

京城　三越呉服店　電話三五二番

小說　貸本業者諸君へ　講談物新小說大阪版東京版一切揃ふて居ます●目錄は三錢郵券●照會は往復端書　御用御安く致します　大阪三休橋筋長堀角　小說專門御問屋　樋口

日韓書房　新版報告
吉田靜致著　國民道德の新修養　定價六十錢　送料六錢
森岡常藏著　現今の訓練上諸問題　定價六拾錢　送料八錢
乙竹岩造著　教育者の新修養　定價六拾錢　送料八錢
野田義夫著　日本國民性の研究　定價六拾錢　送料八錢
棚橋源太郎著　學校設備用品　定價六拾錢　送料八錢
京城本町二丁目

佛軍の兵士塹壕に在つて家郷の文を讀む

十八珊の砲彈爆發
上海モリス氏の庭園内に飛來
間もなく砲彈二個爆發火災を惹き起す

十三日午前三時四十五分上海モリス氏の庭園内に於て十八珊の砲彈爆發し地上に廣さ五呎深さ三呎の穴を穿ち彈片は遠く飛散しモリス氏の廐の屋根瓦及び三四百米突を距つるセント、マリア病院の窓硝子一枚を破壞せり同處は日本人の住宅に近く且つピアロパート氏の邸宅に到る舗道に當れり機器局は此椿事に關係なしと言ひ居れるが察するに砲彈は機器局の上方に碇泊中の軍艦より發射されたるものゝ如く一時は非常なる騷ぎなりし又午前三時五十分機器局附近に於て爆彈二個爆發し火災を惹起せるが死傷者なし（上海特電）

巨濟丸無事に離洲す

去る十日鎭海灣入口加徳島内水道に於て座洲せし朝郵汽船巨濟丸は船尾を解船にて停揚し十三日朝の滿潮に汽船成歡丸の應援にて無事離洲したれば直に潛水夫をして船底を檢せしめしに何等の異狀なかりしかば直に釜山に引返し同日午後三時釜山出帆、麗水線に就航せり坐洲につき同船長の語る處に依れば當日午後一時釜山を出帆し同三時頃加徳島内水道に差し懸りし時左舷の方より一隻の打瀨網漁船航走し來りて同船の進路を遮り衝突の虞ありしかば稍右方に針路を變せし際今度は更に一隻の打瀨網漁船右方より疾走し來り是亦前方を横切り將に衝突せんとし止むを得ず更に針路を右方に變更せんとせしに船狹き同水道の事とて遂に坐洲するの悲境に陷りたるものなりと

親子三人を斬る
戀仲を割かれた遺恨

神戸市大開通五丁目五十三番地仲仕水本源三郎(四五)妻うめ(三八)同長女まさえ(一九)は十一日午前一時頃兵庫縣武庫郡魚崎町燐寸軸木職工荒木鶴松(三二)のために慘殺され犯人鶴松は鐵道自殺をなしたり、加害者鶴松は三年前神戸市松原通六丁目田中又一郎長女よしえ(二二)の養子となりたるも都合にて夫婦別れをなし昨年十月より兵庫大開通五丁目黒原好二氏經營の燐寸工場に通ひ居る中前記まさえと思ひ思はるゝ仲となりたるも鶴松は怠け者にてまさえの兩親は兩人の仲を引割かんとせるより鶴松はまさえを連れて尼ケ崎町に至り姿を晦まし居たるより兩親は所轄署に保護願を出したるが二人は間もなく逮捕されたり其以來鶴松は源三郎親子を恨むこと一方ならず遂に此の兇行に及びたるものなりと因に被害者三名は神戸縣立病院に收容したるが生命には別條なしと（大阪）

刑事と自稱する不屆者

京畿道利川郡栗面五城里兩班無職李慕永事李源鎬(三五)は昨二月二日夜忠北忠州郡伸城面葛峙里金鑛夫韓乘吉方に立越し憲兵補助員刑事なりと稱し同人の妻李今順(二七)に對し乘吉と夫婦となり居りながら民籍上の手續をなさざるは不都合なるにつき龍堂里憲兵出張所に同行すべしと麻繩を以て同女の兩手を縛し同家より南方三丁許りの水車小屋に連れ行き縛を解き今順を毆打したる上怪かる擧動に及ばんとしたるも聽せざりしより其場に打伏せ所持の小刀を取出して意に從はざれば殺害すべしと脅迫し遂に獸行を遂げたること發覺し驪州憲兵分隊に檢擧せられ京城地方法院檢事局に送られたり

屠獸税を横領す
その金額五百餘圓

岐阜縣可兒郡平牧村生れ當時京城樂園洞居住元京城新設里屠獸場看守鈴木莊市(三二)京城崇二洞金鎭容(二七)の兩名は京城地方法院に於て豫審中なりしが愈々罪狀決定し公判に附せられたり鎭容は數年來同所に於て屠獸請求者の依頼に應じ代書を爲し來りしが高陽郡廳に於て大正三年四月以降屠獸請求者に對し牛一頭に付金一圓五十錢の屠畜税を賦課することゝなりてより各納税者の税額金を預り置き數日分を一括して高陽郡廳に納付し居れるが鈴木は同人が右の金額を常に所持し居るを知り鎭容に融通方を申込み同人は大正三年十一月より大正四年五月迄の間に前後十一回に京城授恩洞金福童外十數名より預りたる屠畜税金中五百十圓を横領して悉く鈴木に貸與し尚鎭容は別に三十四圓五十錢を横領消費せるなりと

交代兩師團驩送迎計畫決定
廿三日鐵道局公園にて＝京龍官民合同大園遊會＝龍山市の裝飾

新師團の設置と第九師團の歸還は本月中を以て其一部を實施することとなりたる爲京龍市民の歡送迎の計畫あるは既報の如くなるが愈々發起人側に於て決定せる計畫の大要を擧ぐれば第一送迎宴會第二龍山驛の接待第三市内の裝飾其他にして

▲歡送迎大宴會 京城府尹、商業會議所會頭及び鮮人側同副會頭の三氏を發起人として二十三日午後一時より龍山鐵道公園に於て第九師團送別並に第十九師團歡迎の爲め盛大なる園遊會を開催することゝなり主賓たる兩師團の將校四百餘名を初め軍司令部、憲兵隊司令部、總督府及び所屬の各部院局長官、李王職長次官、朝鮮貴族、鮮銀、東拓、朝鮮の代表者、各新聞通信雜誌の代表者及び特派記者其他を招待して

▲特に寺内總督 並に朝鮮王族殿下の臨席を請ふ筈なれば當日は定めし非常の盛會を見るなるべし尚第九師團所屬の下士以下各位に對しては清酒又は菓子類を贈呈し以て惜別の意を表する筈なりと尚又中券番、京城券番茶洞房橋の兩妓生組合は非常の意氣込にて園遊會當日の餘興其の他に就ては已に準備中なり又龍山鐵道局に於ては同公園の使用に對する快諾を與へたるは勿論會場の大々的設備其他に關し出來得る丈けの便宜を圖る事となれり

▲龍山驛の接待 四月十七日第十九師團司令部の入京を初めとし同日より五月二十六日に至る四十日間は龍山に於ける部隊の著發に際し京城府及び愛國婦人會聯合にて茶菓其の他の接待ある筈にて特に愛國婦人會員は親しく接待に當り惜別と歡迎の意を表す筈尚府民一般及び京城府協議會員、京城學校組合會議員、京城商業會議所議員等の公職者は出來得る限り多數繰合せて同驛に參集すべしと

▲市内の裝飾 龍山側に於ては一層其の誠意を表する爲市内各町洞に大園旗大提燈等の裝飾を施し各戸は國旗球燈を掲げ生花其他種々の作り物催し物等を爲す筈なるが京城側に於ては師團司令部著發の當日は特に敬意を表する爲各戸國旗球燈を揭揚することゝなり發起人總代より特に各町有志に對して此旨通牒すべしと

手を携へて朝鮮へ
不穩な小學敎員の驅落

廣島市中塚町重松瓶三女きくえ(二一)は其出生地の同縣安佐郡龜山村龜山尋常高等小學校の敎員を勤め居り同村重松政市方に同居せしが去一日同家を出奔せしまゝ行衛不明となり同校に敎員を勤め居る同郡綠井村豐田寺信雄(一七)と云ふ年下の敎員と手に手を取つて朝鮮に渡りし事判明したりしが此程釜山郵便局の消印ある端書を實父に宛て出せしより多分釜山附近に隱れ居るにあらずやとて目下搜査方を實父より釜山警察署に依頼し來りたりと

急所を握りて殺す

江原道金化郡任南面上杉里酒幕業金浩順(五一)は同洞の金洛鉉の妻となり同棲中去る一月三十一日洗濯賃支拂のことより金洛鉉と爭論を初めて三日に至り二月一日午後五時頃洛鉉は同女を毆打したるに浩順は之に抵抗し洛鉉の急所を堅く握りたる爲め三十分の後遂に死亡するに至りたり其後浩順は其の筋の手に檢擧せられ京城地方法院にて豫審取調べ中なりしが愈々終結して同法院の公判に附せらるゝ

撲つて罰金十圓

京城清進洞李載九(二一)は昌信洞の金銀細工行商人金實澤が昨年十二月十二日李載九方に同居しゐたる金正澤に指輪外數點の金銀細工品（七圓七十錢）を擔保とし本年一月十二日實澤は載九方に到り正澤に對し右の代金を督促したる際載九は傍より容喙して實澤に對し暫時支拂猶豫し吳るゝやう申込みたるも實澤は之に應ぜざりしより一場の口論を惹起し載九は平手にて實澤の顏を數回毆打し一週間を要する創傷を負はせたるより載九は京城地方法院に於て罰金十圓の處分を受けたり

妻離縁を請求す

京城西大門町二丁目鄭萬方同居金戒吉は本夫なる京畿道水原郡俯居驛前洪興七方同居高永根を相手取り過般京城地方法院に離婚確認民籍抹消請求の訴訟を提起したるが原告の申立つるところに依れば原告は明治四十二年中結婚し同棲中貧困なる生活をつゞけ夫婦共他家に雇はれ其の後大正元年十月中夫は妻を他に賣却して酒食の資に供せんとしたるより原告は密かに身を以て逃れたりしが其後永根は成吉を放逐して永根の妹の宅に同居せしめたるも同家にても又々放逐の憂目に逢ひ辛くも叔父の宅に身を寄せゐたるが大正三年十一月中夫婦協議の上離婚することゝなり其の契約成りたるも除籍の手續きを履行せざるより右訴訟に及びたるものなるが此程同法院に於て判決の結果原告の勝訴となりたり

男を拵へて懲役

京畿道廣州郡延西面山里姜姓女事姜晉傳(二九)は數年前同面加佐里の朴崇同に嫁し同棲中不和となり昨年舊五月頃より實家なる同郡恩平面新寺洞に歸宅したること度々なりしも其都度夫に連れ歸られ其後屢々家出し遂に同年十二月二十日より瓶山里の李明先方に至りて同人と同棲したる爲め本夫朴崇同に告訴せられ京城地方法院に於て姜姓女は懲役五箇月李明先は同三箇月の處分を受けたり

◎吸殼より發火 去る二日午後一時頃平南大同郡栗里面將泉里五統五戶農金氏(二二)方より失火住家一棟半燒物置小屋二棟を燒失し損害額百六十五圓を生じたるが原因は通行人の捨て吸殼より發火したるものなりと

◎讀書會期日變更 讀書會第二回は十五日役場井町二の二二四番地騎氏宅にて開會の豫定なりしが會場の都合に據り十六日夜に變更せられたりと

□春は腦病が多い
□ヒステリーは遺傳から

精神病の中でヒステリー程複雜な作用を起すものはなからう、一般ヒステリーと云ふと女特有の病だと思つてゐるやうだがそれは誤りで實際は

▽女七分男三分と云ふ割合であるそして此原因は全く遺傳で云つても差支へがない、醫學の方では之を素因と云つて居る、第二の原因は苦痛、身心の過勞、感情の激變等から來るので遺傳性はこの時に當つて突如として芽を吹き葉を擴げるのである、この場合素人はよく驚いて水を掛けたりするがあれは決して

▽最良の方法ではない、水を掛けたり識に打たれたりするのは徒に病者を勞らせるだけで何んの好果もないばかりか却つて病を重くして仕舞ふ恐れがある此の場合素人が採るべき方法は病者を離して最も安靜を保たせるより外にない、並にヒステリー性精神病といふのは、精神上の變動を受けた時に起る病氣で多くの自殺はこの時に行はれるのである、勿論種類はある

▽幻覺を感じて『神は自分に死ねと云ふから自分は何うしても生きてはゐられない』と云つて自殺するのもあるし、罪業妄想を感じ一寸した事を、例へば茶碗を壞した位の事をさも一大事件のやうに考へてこれでは生きてゐられないと自殺を企てる者もある、又一向何の考へもなしに自殺を企てる者もある、兎も角斯うした病者はこれから夏へかけて一番多く出る時であるから、一般に注意したい事どもである（某醫師談）

上野の海事博覽會
□眼を驚かす樣々の出品□
『環海の島國には必要』

東京上野公園不忍池畔で三月二十五日から海事水產博覽會が開かれて居る、我邦のやうに環海の島國には海事の智識が必要なことは今更いふまでもなく海事思想の普及發達を計るのはかゝる催しは最も適切なもの、一である

▽出品は遞信省を初め直接間接に海に關係ある會社及び個人等其の範圍は頗る廣い、海軍部では毛織物、繃帶及び其附屬品類、船舶内裝飾具發動機類塗料防腐劑救命具綿布麻絲ロープ木工品調帶燈船模型等水產部は鬼網模型魚類水產動植物の加工品等も出品して居るが外には最新型軍艦に備へられた

□十四吋の巨砲（模型）がある

□長さ九間餘の實物大の

彈丸が備へてある砲彈の有效著彈距離は五十五秒時間に十六浬を行くといふ重量二萬二千五百斤製造價格十八萬圓一彈の價千五百圓とある海の博覽會といつても水族館のやうなものはない館内は海の繁殖の徑路を示すため鱗が動いてゐるのと館外に美しい金魚槽がある位、東洋捕鯨會社出品の大鯨の全骨が館外にある對島三島燈臺で捕獲したもので

▽長さ六十二尺の長須鯨ださうで肉造では千八百四十貫あるといふ其他捕鯨砲一挺漁具なども頗る人目を惹てゐる、繁殖水族館などはないが飛行機はモーリスファルマン式複葉で海軍の武官が說明してゐるモーターボートの驅走池は米國風の遊戯池の先驅で少年に受けてゐる本館に入ると大阪商船會社の航路圖汽船航海の

[illegible]

神戸の川崎造船所は同所建造の大船の大寫眞を出して本邦製艦の大規模を具體的に表示してゐる大阪鐵工所は櫻島の工場及び附近の模型並に設計等を住友伸銅所は種々なる伸銅標本を出陳し其他神戸製鋼所、神戸發動機製造所、帝國酸素會社、松田製作所等其他阪神方面の重なる出品者が多い、遞信省出品の

▽造船工程順序の模型は龍骨据付から進水に至る迄の工程狀況を巧みに示して一寸の下に造船の智識を得せしむる郵船會社の巴奈馬運河の模型は全長五十浬通航時間十二時間といふ大運河を約七八間の大模型に造り上下六箇所に水を湛へ模型船を電氣仕掛で通行せしめてゐる、日清汽船會社の支那本部航路の大模型航路標識模型は各種燈臺に電氣作用の汽船廻轉燈の實物に輝いてゐる三池炭礦出品の

□石炭採掘現場實況 [illegible]

□船積の狀況などにて

甚だ有益なるものである高田商會は矢野ストーカと稱せる自働無煙燃炭掛けを出してゐる水難救濟會出品の海難救助の實景パノラマがある評判の海底館は暗き洞穴を通り拔けると上方に明るき光線をさし込める處に出る其の海底部では鰈を逐ふ鰹魚、潑剌たる鯛最底部には蟹蛸貝類の棲息珊瑚の繁殖頗る面白い見ものであるそれから螺線狀に昇上する陸道の間より海水層、中層、漂流魚層などの位置を示し場外へ出る設備になつてゐる別館に

▽朝鮮總督府 關東都督府を始め各殖民地及び全國府縣の水產物出陳即賣があり又餘興演藝場あり中庭飮食店には海の料理水產料理などで當てこんだのも見受ける此海博は決して大規模の完備したものとは云はれないけれども時の影響を受け海運界飛躍の昨今殊に島帝國振興の基礎ともいふべき海事思想普及の目的になるものとして最も時宜に適したる催しである事は首肯される（東京）

書畫骨董入札 今十五日下見十六日開札 定期開會に付別に案内狀差上不申候 京城南山町三丁目 佐々木聚古堂 電話三三三番

京日內案
普通（一回前金三十錢 匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢 匿名一回毎に金五錢増）

普通

◎古本 最高價買入 本品拂底に付特に高價買入 京城本町四 日韓書堂 電話二七八一番へ 40

店舗讓受 營業の種類を問はず至急店舗讓受度し秘密に御相談申候 明治町口入業 萬年社 電話一八四四 44

ポケット講談文庫 新物澤山 書籍交換も致します 京城本町二 電二五二 七ツクボヤ書店 87

店員及子守入用 店員は十八歲以下子守は小娘に限る要保證人 京城明治町二ノ三 中央堂 電一二八九 205

貴金屬職工及徒弟至急募集 希望者は本人來談あれ 京城本町一 ◎村木時計舖金工部 電話長四七一番 208

番外

婦女家庭內職 簡易上品 輸出品編物です希望者へは材料無料貸與す初心者にても相當收入あり 京城堅志洞 電話九四五 編物傳習所 203

見習看護婦募集 年齡十八歲以上 保證人 希望者履歷書携帶本人來談を乞ふ 京城壽町 嶋崎病院 99

▼讓店アリ▲ 各種商業に好適の店舗陳列戶棚及び造作付裏庭に完全なる倉庫專用水道設備あり 黃金町二 樞要場所 姓名在社 71

電鈴 避雷針 工事可成迅速施工 材料器具販賣 加藤商會 京城明治町通 電話長一四七二番 77

賣地及一時貸地 南大門通漢湖農工銀行隣三十坪餘 京城黃金町二丁目 電話一〇一五番 喜多金光堂 93

朝鮮諸官廳受驗講義錄 全部七冊金一圓九十錢送料十四錢 振替京城一一九二 京城旭町二 朝鮮雜誌社內 朝鮮斯文學會 96

恩給年金類 低利長期立換短期 無保險地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸仕候 ○御成 京城南大門外 山口屋 45

クリームキャラメル 大拾錢 小五錢 本店新製 パン元祖 木村屋支店 京城明治町 電話二八七〇 23

皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一 商品陳列館坂の上 電話二一〇三番 25

在名古屋年齡廿二歲津田塾修業生 容美 心得有 性温和 體健 志堅 家政女 洋文學 洋裁 趣味有 相當の方へ（姓名在社）207

◎尋犬 セツター種牝中犬、全身栗茶色胸毛白、鑑札番號三九六六號 右の犬今朝逃失す 付けの方は御知らせを乞ふ 相當 貞洞一 早野

▲店員採用 三名 算筆に堪能なる者市內に保證人二名を要す希望者履歷書携帶前九時頃來談 年廿歲前後 商業校卒業程度 京城 近藤運送店 210

西鶴傑作會員募集 本書は好色一代男 一代女 五人女 等を網羅せり 會費壹圓卄錢 會員以外は絕對賣らず 東京本所松坂町 時代文學社 209

皮より強い値の安い 專賣 柳製德用鞄 京城本町二丁目 高木旅行用具店 206

京城府内納税者ニ告ク

京城府内居住ノ國税及府税ノ納税者ニ對スル納税告知書督促狀其ノ他納税ニ關スル書狀ハ大正五年度ヨリ約束郵便ニ依リ送達ス（京城學校組合戶別割ニ付テハ從前ノ通）右郵便物ニハ納税ニ關スル書狀ト表記シアルヲ以テ之ヲ受領シタルトキハ特ニ注意シ納税上遲怠又ハ過誤ナキヲ期セラルベシ

約束郵便ニ用フル封皮ノ形式左ノ如シ

京城 約束 郵便
京城府 町 丁目 番地 殿
納税ニ關スル書狀（朱記）
京城府

大正五年四月 京城府

入札拂下

一彈藥八萬八千五百四拾發 右拂下ス入札望ノ者ハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ヨ

大正五年四月十五日 警務總監部

食料品 地方の御得意樣方には振替京城一番に御拂込被下ば料金不要 川西商店 卸部 小賣部 電話長一三六七番 振替一二百番

金時たび 仁川 坂田支店 品質堅牢にして格好優美なるは世既に定評あり 一度はいてごらん 特約店全鮮到る所に有 特約販賣御希望の御方には便利御取計申上候

六品崔公萬源氏以宿患本月十四日午前一時卒逝茲以訃告 出棺四月十八日午前六時 返虞同日午後五時 男 相敦 相琳 相殷

▲タングステン 大正五年四月一日 大興面末老里 鳳化面高坪里長器里 金尙會 金宜濟 金陸說三 鳳化面長亭里斗項里 高坪里 陸山定七
▲水鉛及びタングステン 同面長亭里高坪里 金振丙 孫要臨
▲金銀（許可）出願月日 所在地 出願人氏名 仁旨面井洞栗里 工藤 [illegible]
▲金銀 一〇二 杻城面山水里龍岩里 高北面 桑原太平
▲金 一二六 高北面龍岩里 一二八 杻北面梨谷里 赤井賢兒
▲砂金 同 杻城面 [illegible]
▲砂鐵 高北面加口里 [illegible]
▲タングステン [illegible]

千生瓢 (183)

須藤南翠作 筒井年峰畫

小牧山（一）

秀吉が信雄に備へたのは、信孝の滅後ではなくして、恐く光秀征伐の後、直ちに其意圖を蓄へた如く、家康の早暁秀吉と一戰を免れぬことを覺知したのも、決して三家老誅戮の前後ではなかつた。少くとも天正十一年正月十八日、北畠中將信雄の、岡崎城に來訪した時から、其今日あるを覺期したものであらう。されば青後を匿しうして、孤立の地に立つことを恐れ、天正十一年七月には、第二女督姫を北條氏直に配せて、姻戚の關係を深くし、以て後顧の憂ひを除いたのであつた。當時北條氏政は、恃むべき名將でなく、父子ともに驕慢暗昧の器と云はれ、帷幄にも良將謀臣の乏いのが、事實であつたが、早雲、氏綱、氏康三代の餘烈、尚關八州を鎭むるに足るものがあつたので、之に結ぶと、離るとは、非常に勢力の消長を來すのは、甚だ觀易き現象であつた。

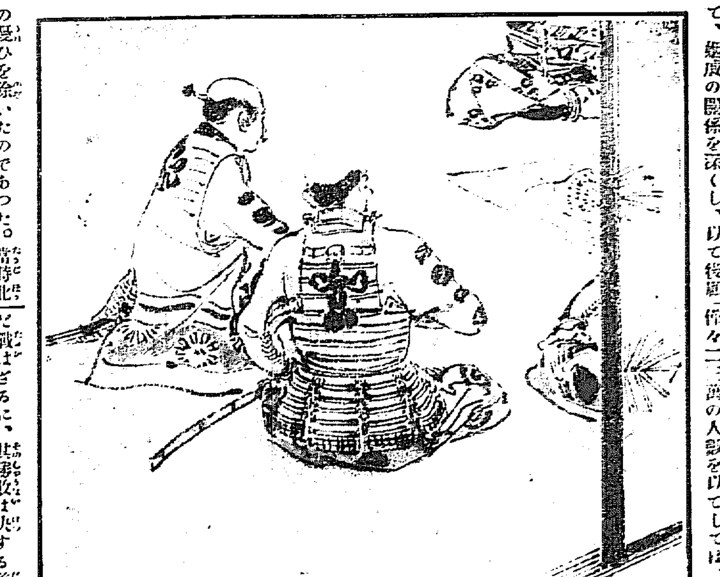
斯うして先づ根底を固うして、靜に濱松城に籠り居て、殆ど天下の事を知らず顔に、隱忍して居たのであつたが、秀吉の調略を以て、誘惑を試むるに至つて、憤然として其の不義を責め、強勢の大敵に對抗して、微弱の孤將に應援すべく、大義名分を明かにして、蹶然として起つたのは、家康が一生涯を通じて無二の大英斷と謂はねばならぬ。

されば、逸早く服部半藏を伊勢に遣し、松ケ島城に瀧川雄利を援けしめ、又水野忠重父子に命じて、北畠が爲に星ケ崎の城を拔かしめ、而も三月十日を以て濱松を發し、其十三日を以て清洲城に入り、こゝに信雄と會して、愈々秀吉が天下の大事に對し、一大血戰を開始するまで、其手順著々と行はれ、所謂迅雷耳を掩ふの遑なき神速鬼疾の行動を執つたのである。

元來尾張美濃は地勢うち開けて、清洲より大垣に至るまでは、一望の大平原である。秀吉若しこゝに大戰を展開して、覇業を張つて應援し來たらんには、清洲一帶の地を守るに僅々二三萬の人數を以てしては、未だ戰はざるに、其勝敗は決する道理である。然るにも拘はらず、家康が清洲城に入つて、美濃平原に臨むのは、如何なる神算があつての事かは、殆ど常人の忖度を許さぬ所であつた。

家康は清洲城に入ると、松平主殿助家忠（前に紀伊守とあるは誤り）大須賀五郎左衛門尉康高を召して、之に謀計を授け、伊勢の國桑名に向けて進發させ、また榊原小平太康政を招いて、密かに城外に出して、尾濃境上の地理を窺はしめた。

斯くして酒井左衛門尉忠次、本多作左衛門重次、石川伯耆守數正、水野總兵衛忠重等を會して、徐ろに軍議を凝らし居る處へ、北畠中將信雄逃だしく入り來つて「徳川殿、御評定を築るやうではござるが、唯今容易ならざる注進を得ておざる」と穏かならぬ眼光をしてすつと上坐に押し直つた。



家康は地圖に落した目を、徐ろに信雄に轉じた。「容易ならぬ注進と仰せらるゝは、御家人の中に裏切りでも致いた者がおざつてか」重々しい舌の廻しやうではあるが、下肥れのした頬に、口を聽くごとに入る笑靨が、自から人を惹き付けるやうに見える。信雄は急がしく手を掉つて「いや〳〵、三家老を誅して以來、二心の家來は一人もおざらぬ。只今犬山城が落ちたげにおざるぞや」「いかにも犬山の落城は、合戰の出鼻に好い瑞相とはおざらぬ。城將には如何なる者を遣されておざる」「彼處は美濃の抑へとして、腹心の郎黨中川勘右衛門尉高之と申す侍大將を、籠め置いておざる」「さては其中川とやらん、既に敵に討れたとおざり申すちやな」家康は軍扇を膝に杖いて、兩手を置いて小首を傾けた。信雄は目つかひ忙しく、つと膝を前ませた。

日報俳壇

雉子郎選

木の芽

木々の芽や息も犬の胴動く　容堂
木々の芽を見て倚る窓や八年經し　同
尺八を吹く狂人や木の芽雨　同
木々の芽や蒼穹に荒ぶ月もし　同
木々の芽や鏘列出づる小城門　同
木の芽張る櫟の山や旭周ち　義朗
受驗生出ては集る木の芽哉　よしみ
木の芽吹く廢寺繕ふて官衙哉　浦子
濱砂に松の芽や木の芽晴　露風

水草生ふ

水草の色めき生いて流れ鳧　樫黄子
水草生えて流れ急なる魚強し　容堂
水草生う池を前なる馬房哉　非城
水草生ひ江に知らで讀む書堂の兒　雉子郎
水草生ふ見出す獻ひ舟待つ間　同
林間の淺き水にも藻草生う　同

青麥

青麥の月や物出す納屋の闇　樫黄子
青麥や島の工場に通ひ船　同
青麥や人其庭の碑を磨き去り　東村
青麥や買ひたる牛を悔ふ　虛中子
青麥や何時か續きし村と村　非城
青麥や山畑下は匿き澤　よしみ

新刊紹介

▲寫眞タイムス（九ノ二）三月中に起りたる社會諸般の出來事を蒐し卷尾に歐洲戰亂寫眞報數種を加ふ（二十五錢東京市京橋區新肴町一八明治製版所）

▲木太刀（四ノ四）十八錢東京市牛込區築地町一二其社

▲非弗新報（九ノ四）二十錢東京市小石川區水道端町二ノ六四其社

▲少年倶樂部（三ノ五）活澄で無邪氣で有益で面白い雜誌なり戰話には白襷隊の奮戰、冒險の說には少年冒險團、歷史物語には賴光の仇討其他數十篇（十六錢東京市本郷區駒込坂下町四八大日本雄辯會）

▲お伽話集暁の小鳥●●●●●● 昔噺とか今日迄云ひ來つたお伽噺の域から更らに進んで現代實際生活の氣分に接觸した寧ろ一種の新說話とでも云ふべき御伽噺を約二十許載せてある讀んで少年少女の興味をそがないで不知不識の裡に成るヒントを與へる樣に書いた點は確かに世人の要求に合致すると信じます（五十錢東京市本郷區駒込坂下四八大日本雄辯會）

▲實業界（二ノ四）商店界裝飾廣告商戰其他商界に必要なる各種の最も斬新なる而して有益なる記事を以て埋めたり商工業者は購讀せざるべからず（二十五錢東京市神田區駿河臺鈴木町同文舘）

▲幼年エバナシ（一ノ四）愉遊びの色々の繪や昔話し武人物語又は小供にわかり易い益になる話を片假名で面白く書いてある美しい繪本（八錢東京市牛込區甲良町二三東京出版社）

商況

大阪株式特電

（十四日）

長期新株	一五九、九〇
鐘淵紡績	一三四、三〇
同上新株	一〇四、〇〇
東洋紡績	一一九、七〇
大阪商船	[illegible]
日本郵船	一八六、三〇

大阪定期米

五月限	二七、七〇	二八、〇〇
六月限	二七、六〇	二七、九〇
七月限	二八、〇〇	二八、三〇
八月限	二八、五〇	二八、七〇
九月限	二九、〇〇	二九、五〇

▲十四日後場（値頭小口利喰ひに崩落ましたるも熱心筋の買に氣直し）

當限	中限	先限
[illegible]	[illegible]	三、五五

▲大阪五綿卅二錢高と移り…[illegible]

▲後場上伸す…[illegible]

商値 安値 出來高

▲若妻コートを貂む…[illegible]

流香の記（方）

▲安府の衛生組合にては何かゴタゴタが起り相なと云ふ噂がある（有志の一人）▲御家庭向きとしての選品…[illegible] 撮ると云ふ活動寫眞の演藝會を見て行きたくて仕方がありませんが、私共兒持が拜見に出れば男女行儀と云ふ始末で赤ん坊のある私等の家庭では拜見中小用にも立つ事出來ず然うかといふて一々小供を男子席迄預けに行けば後から大聲でどなられお茶子からは男子席へ行つてはイケマセンとけんつく喰はされまるで叱かられに行く樣なものです何とかして呉れぬ（家庭席が出來ないものでせうか私のお友達も家庭席が出來ると好いにと云つていらつしやる（活動狂女）▲沈滯した市況は質に喫すべしである氣候もよくなつたから景氣直しに市民大運動會でもやつては何うだらう（去年の選手）▲牛耳洞の櫻は今月の二十六七日頃が滿開ですから鳥渡お知らせ申します（花九里の住人）▲鐵道局では全鮮漫遊列車を出しては何うです、朝鮮の春は何の總みもないなあ（新渡鮮者）▲東京ではスミス氏の宙返り飛行で大分賑つて居るが歸りに朝鮮へも來て呉れないのだらうか（中學生）▲十六日には警務總監部で全鮮武術大會がある相だが一般人の全鮮武術大會もやつて見たいね（神影流の一人）▲京城の運動界は一時却々盛であつたが此頃はチトだれ氣味だ各官衙會社銀行學校の大聯合で漢江でボートレースでもやつて見やうではないか（セコチヤン）

▲漢文大系（二十一卷）本卷には管子を收む卷末には史記管晏列傳…[illegible]（東京神田區表神保町富山房二圓五十錢）

▲支那論集（文學博士市村瓚次郎著）…[illegible]（東京神田富山房一圓二十錢）

▲朝鮮警察行政要義（法學士永野清著）…[illegible]

▲病蟲害雜誌（二ノ四）二十錢東京市小石川區…[illegible]

▲寫眞界…[illegible]

▲農業雜誌…[illegible]

▲陽明（五ノ一）五錢大阪府…陽明學會

▲石油時報（四ノ四八）十錢東京市麹町區…

▲潮友（紀念號）十五錢大連市…

▲婦人週報（二ノ一五）四錢…

▲世界之動種…[illegible]

入院 隨意 京城南大門通三丁目 胃腸病院 院主 佐々木杏造 電話一六五九番

正銀側時計殆ど半額 …本品は當西國會社特製正銀側時計…男用15 16 17形 片硝子 四圓 …

ゴム底輕便靴 …大賀堂

日野時計店

商科開業廣告 …仁川病院 …飯塚喜四郎 電話三五〇番

博士創製の毛生へ藥 田中醫學博士方劑 …禿、眉毛、生へ際、其他身體中あるべき所に毛たきに用ひて皮膚に害なく奇妙に毛を生やし腋毛を止めます から一般に非常な歡迎を受けて居ります直接ハガキで御申込になると發法並に藥劑に關するくわしい說明書封書で進呈す 東京芝愛宕町二の一 電話芝一八七四番 東京藥院

胃病新藥 マーゲン 胃病快治法解說書進呈 特約店 京城南大門通二新井藥房 大阪本町五丁目 山田保榮藥房

目ですり中の目ぐすり 登録商標 岸田 精錡水 目藥

梅毒痳病外科 皮膚病 眼科 入院隨意 龍山元町二丁目 十字病院 院主東京醫科大學專攻 望月憲麿 電話三一四番

タングステン經營者に告く 六十五度以上の「タングステン」高價買入申候 移出の仲介取扱可致候 御希望に依り直接輸 京城本町一丁目二六（電話二二〇番） 日東商會 吉邑祥一

氷營業者の福音 氷貯藏高三百萬貫を拾數棟 …安東縣魚菜市場 吉備洋行 電話二一四番

鑛山用測量器…[illegible]

秦醫學博士の嚴密なる動物試驗を經て販賣する アルサミノール Arsaminol 六〇六號（ネオアルサミノールも今回發賣せり）帝大教授鈴木博士指導の下に當社が製造に着手したるアルサミノールは蛸集滯積せる注文に追はれ、供給の數量之に伴はざりしも今回製造規模を擴大し今や漸く大方醫家の需要を充たし得るに至れり。本品はエールリヒ博士と共に六〇六發見の名譽を擔はれたる秦博士に依りて一々嚴密なる動物試驗を行はれ同博士の證印を得たるものに限り發賣に供するが故に使用上絶對に安全なり。 東京室町 三共株式會社

生殖器械療法 生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか陰委早漏遺精夢精勃起不全交接不快感減少腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力が現はれ陰患外の偉効に驚くべく知れ渡る名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚書が如し詳細はハガキで申込め 東京神田かぢ町五 眞空療法研究所 電話神田七二二番

太田胃散 胃病良藥 ○飲過ぎ食過ぎに妙なり 本舗 東京… 太田信義藥房

ひぜん水 大阪市西區新町通二丁目 本家 田知谷和三郎謹製 振替大阪二八一八番

仁川本町 …綿布製品 毛布 …洋傘 …京阪洋行

全京間自動車發着時間表

金泉 報恩 尙州 成昌 醴泉 …（金泉電話四八番） 金泉 織居自動車支部

日本郵船仁川出帆

三河丸 四月廿二日 正午出帆 大連、太沽、牛莊行
相模丸 五月五日 正午出帆
高砂丸 五月十一日 正午出帆
仁川海岸町一丁目（電話十一番） 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行（外國航路は雜費を要せず、速達引換發賣仕候）
○安東丸 四月十五日 午後五時出帆
×須磨丸 四月十七日
×天智丸 四月二十日
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
×信濃川丸 四月廿三日 後二時出
○鎭南浦、大連行
×信濃川丸 四月十八日 後二時出
○大連直行
△潮州丸 四月十八日 正午出帆
×福州丸 四月廿七日
○群山、釜山、濟州島行
○潮州丸 四月廿二日 午後二時
△福州丸 五月二日
○清津、浦潮行（元山出帆）
▲印城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
宮島丸 四月廿九日 午後二時出帆
平安丸 四月十五日
▲上海、芝罘、打狗行（大連出帆）
○湖北丸 四月廿三日 前十時出
城津丸 五月四日
御注意 ○本船航路… 大阪商船會社仁川支店 電話二番 京城切符發賣所 內國通運會社支店

阿波共同汽船仁川出帆

共同丸 四月 日 正午出帆 朝鮮郵船靈顯丸 …
阪鶴丸 城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
第一 西湖津沿岸各港を經て雄基行
（元山出帆）阿波國共同汽船株式會社 …回漕部

朝鮮郵船

京城營業所 …松原運送店
京畿丸 四月二十二日 釜山發
黃海丸 四月廿六日
成鏡丸 四月十六日
咸鏡丸 四月十八日 元山發
昌平丸 四月廿一日
鎭城丸 四月十七日
忠淸丸 四月廿八日 元山發
平壤丸 四月廿一日
永興丸 每月廿八回 元山發
盈德丸 四月十八日 釜山發
江陵丸 每日 （浦項）發
襄陽丸
三浦丸 四月十七日 釜山發
海州丸
巨濟丸 毎 釜山發
統營丸
慶興丸 四月廿二日 木浦發
公州丸 四月廿四日 木浦發
公州丸 四月十九日 木浦發
宗信丸 四月十九日 仁川發
江原丸 四月十七日 仁川發
麗水丸 四月廿一日 仁川發
錦江丸 每日午前 仁川發
南浦丸
平安丸 四月廿四日 群山發 四月十八日 若松發

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 四月 日後五時出帆
○元山清津浦鹽行 立神丸 四月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 四月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 四月廿六日 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天兵丸 每月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下ノ關、神戸、大阪行
大正丸 四月 日後四時出帆
大有丸 四月廿四日 日後四時出帆
神代丸 四月十九日 日後四時出帆
鼓盛丸 月 日後四時出帆
君が代丸 月 日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部